



神戸大学生協同組合

2025年度（第69回）通常総代会議案書

第1号議案 2024年度活動報告・事業報告書および決算関係書類承認の件

第2号議案 2025年度事業計画及び予算決定の件

第3号議案 2025年度役員選出の件

第4号議案 監事監査規則の一部変更の件

第5号議案 役員報酬決定の件

日 時：2025年5月29日（木）17時00分

場 所：鶴甲第一キャンパス 神戸大学生協総務部2階会議室



《目 次》

第 1 号議案 2024 年度活動報告・事業報告書および決算関係書類承認の件

1) 2024 年度活動報告.....pp.1-8

学生委員会活動報告.....pp.9-12

2) 2024 年度事業報告書および決算関係書類等.....pp.13-43

参考資料.....pp.44-56

店舗別損益対比表・損益比較表・沿革・2024 年度内部統制計画評価・2025 年度内部統制計画

監査報告書.....p.57

第 2 号議案 2025 年度事業計画及び予算決定の件

1) 2025 年度活動計画.....pp.58-64

学生委員会活動方針.....pp.65-67

2) 2025 年度予算.....pp.68-70

第 3 号議案 2025 年度役員選出の件.....pp.71-72

第 4 号議案 監事監査規則の一部変更の件.....p.73

第 5 号議案 役員報酬決定の件.....p.74

設立趣意書

終戦後、神戸大学には教職員と学生の福利厚生を増進を目指して、六甲台協同組合、御影協同組合、住吉寮協同組合、住吉食堂運営委員会が発足して、不安定な国民生活の中で、組合員の経済的文化的生活を守りその向上をはかって来た。

然し、現在の社会状況は、このような私達の協同組合事業の強化を要請している。この時に当って私達は、これらの組合の社会的経済的信用を高め、かつ組合を法の統制と保護の下におき、その存続の基礎を固めるさしせまった必要から、これを統一して消費生活協同組合法の定める特殊法人「神戸大学消費生活協同組合」として発足しようとするものである。

1957 年 6 月 29 日

第1号議案 2024年度事業報告・事業報告書および決算関係書類承認の件

※第1号議案は2024年度の事業と活動を報告します。

第1号議案－1 2024年度活動報告

2024年度は活動計画の中心に【「通学＝生協利用」の強化】【コロナを言い訳としない事業・活動の構築】【新システムへの対応】【原点回帰】の4点を継続して取り組み、あらたに【新たなフォームによる剰余の確保】【人員体制の構築】【付加価値の探求】の3点を2024年度の活動方針として、事業・活動の高次化に取り組みました。

【概況】

利用人数は2023年度実績の+5.9%(+92,890名)と利活用が増加しました。ショップ事業部では+1.9%(+9,935名)、FS事業部では+7.8%(+82,955名)となっています。ただ、2019年度との比較では、全体で73.7%に留まっています。遠隔授業やハイブリッド授業がもはや標準となっていると考えられます。

ただ利用人数は回復傾向ですが、校費利用(物販・書籍とも)は2023年度から引き続き厳しい状況です(2023年度実績の7.4%減)。また、教科書販売も減少傾向となっています。教科書指定がない、あるいはデジタルデータで配布する授業が増加しています。校費利用に依存しないスタイルへの移行を模索していますが、なかなか難しい状況です。

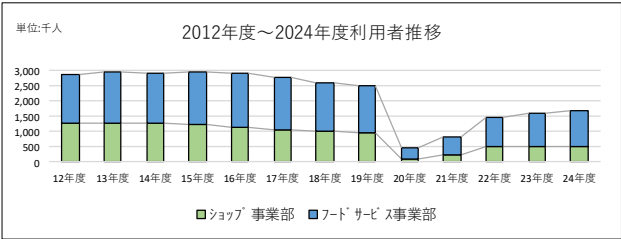
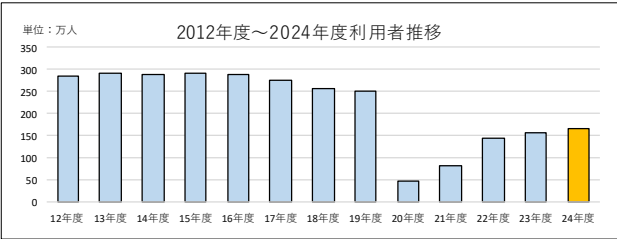
※校費利用は、2023年度が2022年度実績の約11.8%減で2024年度はさらに減少しました。FS事業部は、食堂利用だけではなくケータリング事業も好調で、神戸大学生協の経営基盤を大きく支えました。なお、2023年度に大きな負担となっていました、電気使用料金は大きく減少しました(利用単価が安価となる)。

2012年度～2024年度利用者推移

年 度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
利用人数	2,842,620	2,920,744	2,885,925	2,926,915	2,871,562	2,744,229	2,566,427	2,505,594	457,521	821,433	1,451,187	1,572,614	1,665,504
前年度比較	—	78,124	△34,819	40,990	△55,353	△127,333	△177,802	△60,833	△2,048,073	363,912	629,754	121,427	92,890
前年度増減率	—	2.7%	△1.2%	1.4%	△1.9%	△4.4%	△6.5%	△2.4%	△81.7%	79.5%	76.7%	8.4%	5.9%
2019年度比較利用回復率									18.3%	32.8%	57.9%	62.8%	66.5%

2012年度～2024年度事業部別利用者推移

利用者推移	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
ショップ事業部	1,268,503	1,288,208	1,256,228	1,232,575	1,153,730	1,050,026	992,506	951,248	119,900	224,745	490,237	509,727	519,662
前年度比較	—	19,705	△31,980	△23,653	△78,845	△103,704	△57,520	△41,258	△831,348	104,845	265,492	19,490	9,935
前年度増減率	—	1.6%	△2.5%	△1.9%	△6.4%	△9.0%	△5.5%	△4.2%	△87.4%	87.4%	118.1%	4.0%	1.9%
2019年度比較利用回復率									12.6%	23.6%	51.5%	53.6%	54.6%
フードサービス事業部	1,574,117	1,632,536	1,629,697	1,694,340	1,717,832	1,694,203	1,573,921	1,554,346	337,621	596,688	960,950	1,062,887	1,145,842
前年度比較	—	58,419	△2,839	64,643	23,492	△23,629	△120,282	△19,575	△1,216,725	259,067	364,262	101,937	82,955
前年度増減率	—	3.7%	△0.2%	4.0%	1.4%	△1.4%	△7.1%	△1.2%	△78.3%	76.7%	61.0%	10.6%	7.8%
2019年度比較利用回復率									21.7%	38.4%	61.8%	68.4%	73.7%

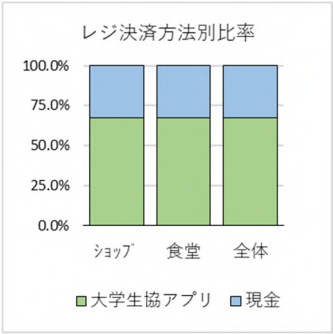


大学生協アプリの決済利用(電子マネー・学食定期・ポイント利用)も全体で約67.1%(昨年度比+8.6%)と増加しキャンパス内でのキャッシュレス化が進んでいます。ショップ事業部・FS事業部ともに67.1%の決済利用で、昨年度との比較ではショップ事業部が+14.2%、FS事業部が+4.2%で

す。特に1年生の利用が多い鶴1食堂で74.8%、学生会館の教科書販売で67.0%と高い決済利用率となっています。決済利用の増加に伴い年間で約17,619千円を付与しており、多くの組合員にポイントを通して利用還元することとできました(1円=1円で決済利用可)。

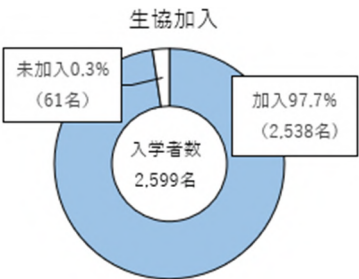
ただ、4月12日・15日・16日には大学生協アプリの障害が全国の大学生協で発生しました。サーバーに設定されています、同時接続制限を超過したことが原因で、同時接続制限を拡張することで障害が解消しました。新学期の利用が非常に多い時期での発生で、多くの組合員にご迷惑をおかけすることとなりました。

店舗利用では組合員の要望にお応えし、4月よりBELBOX カフェテリアの夕食営業(昼食営業後に中間閉店あり)ならびに土曜日の昼食営業を開始しました。また、12月には手作りパンの製造・販売を開始しました。手作りパンに関しては、手作り弁当に次ぐ内製の商品であり、事業の柱として大きく育てたいと考えています。



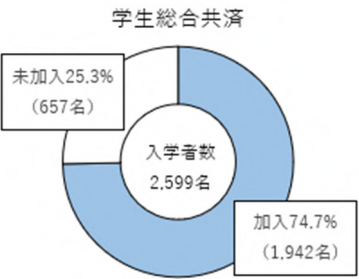
① 新入生支援活動

2024年度新入生支援活動は、全体を通して計画通りに取り組むことができました。ただ、生協ならびに学生総合共済の加入は減少する結果となりました。新入生の約97.7%が生協に加入いただき、学生総合共済は約74.7%、学生生活110番は約71.8%、そして学生賠償責任保険は約76.1%の加入となりました。それぞれに加入数が減少する結果となりました。

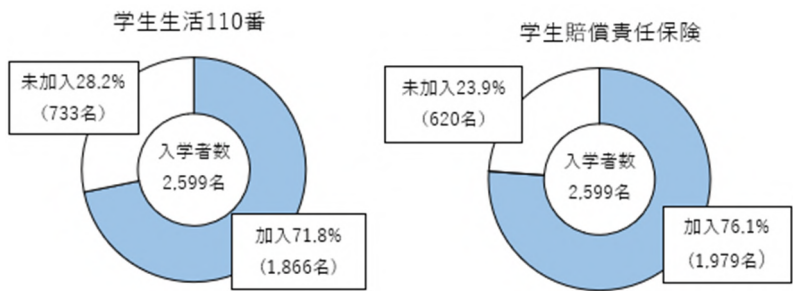


※2023年度の新入生は、生協加入が約99.3%、学生総合共済が約83.7%、学生生活110番が約82.7%、学生賠償責任保険は約84.7%でした。

大学の入学手続きが2024年度よりオンライン化されたことで、これまでの入学手続き完了後に生協加入等が速やかに行われていたスキームに変化が生じたと考えます。入学手続きの完了後、生協の手続きに気付かないケースが散見されました。結果、かなりの時間が経過してから生協加入等の問い合わせが増え、生協加入手続きの長期化や学生総合共済の加入減となりました。特に生協加入の長期化は、各店舗の利活用における組合員還元を受けることができない状況となりました。5月には、学務部と次年度に向けての打ち合わせを行いました。



※大学生協アプリで決済できない(ポイントの付与もできない)状況で、特に教科書購入時の影響は大きいです(書籍は100円につき10ポイント付与)。



学生総合共済の給付に関しては、右記の表の通りとなり、多くの

2024年3月21日～2025年3月20日の期間での 学生総合共済給付件数および給付金額		
事 由	件数	給付金額
本人死亡	1件	1,000,000円
事故後遺障害	1件	240,000円
病氣入院	171件	11,410,000円
事故入院	54件	4,510,000円
病氣手術	124件	6,200,000円
事故手術	47件	2,350,000円
事故通院	543件	13,713,000円
事故長期	1件	600,000円
父母死亡	13件	6,500,000円
扶養死亡	2件	5,500,000円
こころの早期保障	59件	590,000円
合 計	1,016件	52,613,000円

組合員の病気や事故に際しての支援を行うことが叶いました。

学習用パソコンは、計画台数(860台)+ α を目標台数(1,000台)としましたが達成することが叶いませんでした(販売実績は899台)。学習用パソコンのサポートサービスとして案内しています、4年間の安心サポートパックの加入は628名(学習用パソコン購入者の69.8%)、パソコン講座(神大生版Office講座)は508名(対面講座が144名、オンライン講座が364名)となりました。新入生を対象としたプレ学食定期は2年目となり、新入生の2,070名(約79.6%)が申し込まれました。全体(新入生+在校生)は4月開始プランで528名、5月開始プランで937名(5月開始プランはプレ学食定期からの切り替えを目的)、6月開始プランで92名、後期プランで30名となり、1,587名の申込となりました。2024年度もオンライン方式にて入学準備説明会を開催しました。合格者ならびに保護者を対象に計5回開催(昨年度は8回)し、参加された1,391名(申込は1,672名)に新入生支援活動を紹介することができました。住まい紹介では、来場者数は減少しましたが、六甲地区・大倉山地区(医学部)での成約件数は昨年実績を超えました。

※4月2日(火)の午前と午後の下宿生オリエンテーションを開催し、先輩神大生の協力をいただき、1人暮らしの不安解消や友達作りを支援しました(130名参加)。



②受験生支援活動

◇住まい紹介オンラインセミナー

現役神大生にも協力をいただき、1月31日に受験生・保護者を対象としたオンラインセミナーを開催しました(10時・14時・16時の3コマで定員300名)。また、医学部医学科・保健学科も昨年度同様にオンラインセミナーを2月14日に開催し、31名(昨年度は14名で+17名)の参加がありました。

◇受験宿泊

受験宿泊は727組1,577名となりました。昨年度実績(697組1,501名)からは増加しています。



③プレ総代会の開催

総代会前にプレ総代会を5月16日に開催し、総代ならびに組合員と意見交換を行いました。57名が参加され、「ショップの利用回復」「ショップと食堂が学外に比べて優位性を出すには」の2つの議題を話し合っていたいただき、多くの貴重な意見をいただきました。

④学生団体の連携

神戸大学 KooBee の企画に協力しました。企画の内容は、鶴1食堂が4月に提供するメニューデータを活用し、総額650円となるメニューの組み合わせをガチャ方式にて案内するスマホアプリの開発です。4月限定のアプリ利用(無料)でしたが、非常によくできたアプリで、食堂の待ち時間(列に並んでいる時間)に多くの組合員が利用されていました。混雑緩和にも役立ったのではと感じています。



⑤1年生との意見交流会

7月25日に、新入生支援活動で取り組んだ「学習用パソコン」「パソコン講習会」「学食定期」に関して、新入生と意見交流を行いました。担当の生協職員が、各テーブルを訪問するワールドカフェ方式で開催しました。「生協からの提案がわかりやすかったか?」「ニーズに合っていたのか?」「もっとこうすれば良い」等、新入生と生協職員の双方向からの率直な意見や質問が活発に行われ、次年度以降の改善点や課題点の発見につながりました。

⑥一言カードの投函枚数の推移

2024年度も多くの一言カードを投函頂きました。食堂のメニューに関する意見・要望が多いです。一言カードは、組合員との大切なコミュニケーションツールの一つです。生協職員が気付かない課題や改善へのヒントとなります。今後も、投函枚数が増えるように尽力します。

各年度の投函枚数

<単位：枚>

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
計	138	169	133	254	158	207	58	90	175	190	150

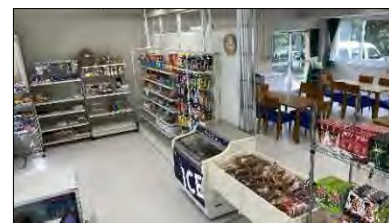
⑦食堂メニューの価格改定

社会情勢の悪化(戦争・為替・自然災害)が想定を超える状況となり、食材の仕入価格・物流費(燃料価格)等が高騰しました。また、最低賃金の大きな改定にて人件費が増加しており、3月4日より食堂メニューの価格改定を行いました。

⑧附属学校店の新店舗

附属学校店の移転工事が無事に終了し、9月2日より新しい場所にて営業を開始しました。この移転に際して、生徒会にて新しい店舗名の募集が行われ、投票の結果、新しい店舗は「Rabbit's Square」に決まりました(9月4日の昼食時の校内放送にて発表)。

※ Rabbit's Square(ラビットスクエア、略称ラビスク)は、住吉あたりを「兎原の森」というところに由来しています。また、店舗前のスペースはラーニングスペース(リフレッシュルーム)として活用されています。



⑨セブン・イレブンでの神戸大学オリジナルグッズ取り扱い



セブン・イレブンの店長より、神戸大学オリジナルグッズに関して、当生協の休業日(土・日・祝日)や営業時間外において、オリジナルグッズの問い合わせが多く、工学部のセブン・イレブンで取り扱いたいとの相談がありました。大学の承諾を頂き、セブン・イレブン工学部店にて10月1日から販売を開始しました。

⑩共済企画「六甲健康ランド」の実施

10月30日に LANSBOX 食堂、31日に国際文化学部食堂、11月1日に工学部食堂にて、共済企画「六甲健康ランド」を開催致しました。

※共済企画は、学生総合共済の活動4本柱(加入・給付・予防提案・報告)の一環として、各大学生協にて様々な企画に取り組んでいます(給付ボードの掲示や自転車安全点検等々)。

神戸大学生協では、「六甲健康ランド」として健康チェックや食生活相談を実施しています。

今年度は食生活相談に、当生協学生委員以外も栄養士あるいは管理栄養士の資格取得予定の学生に協力頂きました。

※神戸大学生2名、奈良女子大学生1名、武庫川女子大学生1名、摂南大学生1名の計5名。また、3日間で288名が本企画を活用され、食生活相談は対面が76名、メールが96名と多くの相談に対応しました。



【10/30 LANSBOX 食堂】



【11/1 工学部食堂】



【10/31 国際文化学部食堂】



⑪手作りパンの製造販売の状況

12月2日より、手作りパンの販売を鶴1ショップにて開始しました。

11月22日にスタッフ研修、27日に衛生講習、29日に試作したパンを組合員に無料で配布しました。



販売開始に際しては、鶴1ショップのみでの販売(金曜日は販売無し)とし、製造個数を約300個から開始しました。販売価格は、120円・140円・160円・180円の4種類で、140円と160円が主力商品となります。プライスカードはアレルギー表示義務となる8品目を表記し、詳しい成分は当生協のHPに掲載しました。

※表示義務の8品目は、「えび」「かに」「くるみ」「小麦」「そば」「卵」「乳(牛乳)」「落花生(ピーナッツ)」となります。

また、12月2日から4日の期間は、2個購入に1個プレゼント(4個だと2個プレゼント等)のキャンペーンも実施しました。製造個数が少ないこととキャンペーンの効果、そして学食定期を利用できることから12時までには完売する状況となりました。1月からは金曜日のみ、六甲地区の他ショップでの販売を実施しました。徐々に製造数を増やし、約800個まで製造することが可能となり、2025年4月からは1,000個の製造を目指します。



【12/2(販売初日)の鶴1 ショップ】



【鶴2 ショップ】

【LANSBOX 店】



⑫店舗名の変更

組合員から応募頂き、鶴甲第1キャンパス、鶴甲第2キャンパス、そして深江キャンパスの食堂・ショップの店舗名を12月1日より変更しました。新しい店舗名への変更は、2020年度からの懸案となっていました。7月16日開催の第3回理事会にて募集開始に関する報告、10月22日開催の第5回理事会にて進捗を報告、そして11月12日開催の第6回理事会にて決定しました。

※国際文化学部と発達科学部は、2017年(平成29年)の学部改組にて国際人間科学部となりました。海事科学部も2021年(令和3年)に海洋政策科学部となりました。それぞれの食堂・ショップは、学部名を冠した店舗名となっており、旧学部名を認識していない学生が増えました。

なお、応募数は、国際文化学部食堂で70件、国際文化学部店で38件、発達科学部食堂で34件、発達科学部店で31件、海事科学部食堂で45件、海事科学部店で26件です。

キャンパス	店舗名(～11月末)	新店舗名(12月1日～)
鶴甲第1キャンパス	国際文化学部食堂	鶴1食堂
	国際文化学部店	鶴1ショップ
鶴甲第2キャンパス	発達科学部食堂	鶴2食堂
	発達科学部店	鶴2ショップ
深江キャンパス	海事科学部食堂	深江キッチン
	海事科学部店	深江ショップ



⑬学生 SDGs 推進プログラム 学生委員会への特別協賛

12月2日に鶴1食堂学生ホールにて開催されました、「Be the 3.5%」プロジェクトに特別協賛しました。当日は、アウトウェアブランド「パタゴニア」神戸、大学生を中心とする団体「NO YOUTH NO JAPAN」がお見えになり、ワークショップが開催されました。

※「Be the 3.5%」プロジェクトは、気候変動をはじめ環境に様々な悪影響をもたらしている大量消費・大量生産に関して考え、明日からの行動、そして社会の変化につながる気づきを得られることを目指す取り組みです。

⑭コープ共済商品の取り扱い

神戸大学生協は、学生総合共済以外のコープ共済商品を取り扱うことができます。2024年度は、「たすけあい」が9件、「あいふらす」が1件、「ずっとあい(終身医療)」が3件、「マイカー共済」が2件、「火災共済」が5件の申し込みがありました。

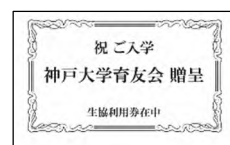
※2022年度第66回通常総代会にて定款変更を議決頂き、同年6月よりコープ共済商品の取り扱いを開始しました。また、2023年度第67回通常総代会にて定款変更を議決頂き、火災共済ならびにマイカー共済が10月より取り扱えを開始しました。なお、両定款変更に関しては、兵庫県の認可を頂いています。

⑮大学との連携および貢献活動

◇神戸大学育友会との連携

今年度も神戸大学育友会より、新入生に贈呈する生協利用券(500円)の依頼があり、2,850枚を発行しました。

※券面と封筒は生協がデザインしました。



◇留学生ホームカミングデイへの協力

10月26日に百年記念館六甲ホールにおいて、第21回留学生ホームカミングデイが開催されました。今年度も学生委員会が「KUワールドフェスタ」に協力し、カラオケコンテストの企画・運営を担いました。カラオケコンテストでは、5カ国の在学留学生が得意の歌を熱唱されました。



◇神大オリジナルグッズ

大学のUI活動への貢献として、神大オリジナルグッズの出張販売(学内外)を行いました。

※主な販売は以下の通りです。

実施日	学事等	販売場所
3月26日(火)	卒業式	神戸ワールド記念ホール
4月4日(木)	入学式	神戸ワールド記念ホール
6月9日(日)	神戸みらい博士育成道場開講式	百年記念館
9月21日(土)	山口誓子展	百年記念館
10月26日(土)	ホームカミングデイ	六甲台本館前中庭
11月9日(土)	六甲祭出店	六甲台本館前中庭
11月10日(日)	六甲祭出店	六甲台本館前中庭

◇データサイエンスPBL演習への協力

今年度も、第3クォーター・第4クォーター、そして春季集中講義(2日間)PBL演習に協力しました。第3・第4クォーターの演習では、1回目の講義では大学生協の仕組み等を説明し、7回目は各グループの成果発表、最終講義となる8回目には生協からの講評を行いました。春季集中講義では、初日の1限目に大学生協の説明、2日目の4限目に成果発表と講評を行いました。

それぞれの演習では、食堂の利用データを全受講生が誠実に取り扱ったと感じています。第3クォーターの成果発表では、FS事業部の各マネージャー・チーフも参加し、各グループの成果発表

を傍聴しました。各演習での発表はどれもが素晴らしく、今後の FS 事業の改善や発展に活かします。

◇地域連携推進本部「ボラ cafe2024 春」への協力

5 月 21 日・22 日に開催されました、「ボラ cafe2024 春」の情宣等に協力しました。

※「ボラ cafe2024 春」は、神戸、兵庫県、全国でボランティア・社会貢献活動に取り組む学内の学生団体・サークルが集まり、在学生対象の新歓イベント(活動報告や勧誘)です。

◇SDGs 学生推進プログラム学生委員会企画への協賛

SDGs 学生推進プログラム学生委員会が開催しました、SDGs ワークショップ「神戸の未来、社会の未来、ずっと続く地球の未来」に協賛しました。

◇神戸大学総務部業務支援室との連携(業務委託)

12 月 13 日に実施されました、「令和 6 年度業務指導員連絡会グループワーク」に協力しました。

※業務支援室は大学の障がい者雇用を担当されており、今回のグループワークは障がい者の就労をサポートする各班の責任者を対象としたもので、当生協職員を講師として派遣しました。

◇2024 年度の大学との業務委託関係(契約等)や寄付等は以下の通りです。

- ・神戸大学構成員への福利厚生に対する業務委託契約・協定書・覚書の締結
 - ・学生ホール(食堂ホール)光熱費の一部負担※1
 - ・全学ソフトウェアライセンス(Microsoft の OS と Office)のインストールサポート
 - ・大倉山キャンパス(医学部医学科)を除く自動販売機設置管理業務(5 年ごとに入札で 3 年目)※2
 - ・学生証発行に関する業務※3
 - ・入学試験合格者への書類発送業務※4
 - ・プリント課金システム運用業務
 - ・鶴甲第 1 キャンパス・六甲台第 2 キャンパス(文理農)の入構パスカード販売
 - ・神戸大学ブランドグッズの商品開発、販売※5
 - ・可燃ゴミ回収業務(随時契約)
 - ・経済経営研究叢書の販売に関する契約(出版物販売契約)
 - ・英語外部試験受験料一部支援制度申請受付業務※6
 - ・国際人間科学部 1 年生の英語外部試験実施受託※7
 - ・食堂ビッグデータを活用したデータサイエンス AI 教育の展開に関する共同研究契約
- ※1)厚生補導奨学寄付金として 200 万円を寄付しました。
- ※2)自動販売機の供給高の一部として約 1,180 万円を納付しました。
- ※3)学生証の表面に組合員番号の印字、裏面に生協加入シールを貼ることで組合員証として利用しています。学生証発行費用は生協が全額負担しています(約 253 万円)。また、同窓会・生協に対する個人情報共同利用に同意していただいた新入生のデータを、大学より提供していただいています。
- ※4)発送費用は生協が全額負担しています(約 375 万円)。
- ※5)2024 年度は、ロゴマーク使用料約 74 万円(昨年度 98 万円)を大学に納付しました。
- ※6)1 年生以外の対象学部生において、2018 年度より大学指定の英語外部試験を受験した場合、大学が受験料の一部支援 (QUO カード) を行い、その申請窓口業務を生協が請け負いました。
- ※7)グローバル文化学科の 1 年生を対象とした TOEFL-ITP の実施を受託しました。

学生委員会活動報告

神戸大学生協学生委員会

委員長 飯田 陽向

学生委員会(以下 GI)の 2024 年度活動報告【イベントの企画や冊子の発行等】は以下の通りです。

《冊子》

組合員向け機関紙 Rambler Times No.151~152

- 【目 的】①組合員に生協についての情報を伝える。
②GI が生協組織であることを組合員に認知させる。
③組合員からの GI の解像度を上げる。

【概 要】神戸大学生協機関紙 Rambler Times の発行

【発行部数】No.151: 4,500 部、No.152: 1,000 部



受験生向け冊子 (神大 Navigator'24)

- 【目 的】①受験生の神戸大学入学後の不安を軽減する。
②受験生に神大の魅力を伝えることで神大に行きたい
と思ってもらう。

【概 要】神大 Navigator'24 の発行

【発行部数】15,900 部

【発行方法】・郵送

(大学案内等と同梱しテレメール等で配布)

・インターネットでの公開

(神戸大学入試「受験生ナビ」)

・学生委員の母校に直接設置



新生向け冊子 (うりぼう 2025)

- 【目 的】①新生に神大の生活を知ってもらい、
大学生活の不安を解消してもらう。
②新生に生協のサービスについて
知ってもらい、活用したいと思っ
てもらう。

【概 要】うりぼう 2025 の発行

【発行部数】3,100 部

【発行方法】新入生合格袋に同封



《イベント》

かき氷企画 (WIFI)

- 【目 的】GIに興味を持ってもらい、知名度を向上させることで、イベントの参加者を増やす。
- 【概 要】・七夕を模したイベントを2日間行い、GIや食堂、購買に対する要望を募集する。
・参加者へかき氷をプレゼントする。
- 【結 果】参加者数：2日間で518人



受験生相談会企画 (TIS)

- 【目 的】①受験生の受験に対する不安を解消、軽減してもらう。
②神大の魅力を伝えることで神大を受験したいと思ってもらう。
- 【概 要】①受験生相談会の開催。(対面・オンライン)
②受験生応援板の管理(受験生の質問対応)
- 【日時場所】対 面：8月19日(月)
@鶴甲第一キャンパス学生ホール
オンライン：8月20日(火)
@Zoom
- 【結 果】対 面：77名
オンライン：47名

感謝を伝える促進企画 (イートリウム)

- 【目 的】①周りの人から何かしてもらえる・周りの人が常に一緒にいることが当たり前じゃないと気づかせる
②感謝を伝えるきっかけを与える。
- 【概 要】①参加者がハーバリウムを作ってメッセージカードと共に感謝を伝えてもらう。
②Instagramの投稿の作成と投稿。
- 【日時場所】①7月8日(月)~10日(水)
@国際文化学部食堂学生ホール
- 【結 果】参加者数：128名



メイク企画 (めいぷる)

- 【目 的】①新入生のメイクやヘアアレンジに対する不安を解消する。
②1人でも自信を持って実践できるようになる。
- 【概 要】①後期スキルアップ講習での美容講座
②冊子作成
③インスタ投稿
- 【日時場所】9月19日(木)

SNS 運用企画(らプロ)

- 【目 的】①組合員にとってニーズが高い（信憑性の高い）情報を提供する。
②情報発信を通して、組合員のニーズにこたえる。
③GI の活動内容を発信する、フォロワーを増やし GI の認知度を高める。

- 【概 要】①Instagram、X での投稿
②新入生向け質問箱の設置、対応

- 【日時場所】①Instagram：原則毎週日曜

X:不定期

- ②3～4 月

- 【結 果】652 人の新規フォロワーを獲得しました。
(2025 年 4 月 21 日現在フォロワー3,167 人)

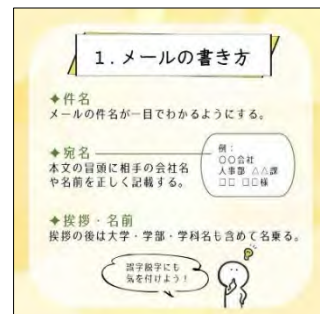


就活企画(ミコルート)

- 【目 的】就活の情報を気軽に得られる場を提供し、就活に対する不安を軽減する。

- 【概 要】就活を進めるうえで有益な情報を Instagram で定期的に発信する。

- 【日時場所】5 月～8 月の 4 カ月間、毎月 5 日間程度の頻度で投稿



知名度向上促進企画(ぽかり)

- 【目 的】①前期のかき氷の企画と同一団体だと知ってもらう（知名度）
②焼き芋に対して、価値還元を実感してもらう
③組合員の意見が反映されていることを実感してもらう。
④GI が組合員の出資金の一部で活動していることを知ってもらう。

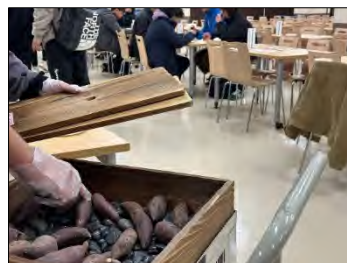
- 【概 要】GI への要望と引き換えに焼き芋を提供

- 【日時場所】12 月 16 日(月)～17 日(火)

@鶴甲第一キャンパス学生ホール

- 【結 果】本番 2 日間で 272 人に参加していただきました。
GI にしてほしい企画投票は以下の結果になりました。

- ・学科対抗運動会(143 票)
- ・音楽フェス(88 票)
- ・食堂メニュー疑似選挙(37 票)



単日新歓企画 (Spark25)

- 【目 的】新入生の不安を解消する。
【概 要】新入生向け単日新歓イベントを行う(3 日間)。

- 【日時場所】3 月 19 日(水)・21 日(金)・24 日(月)

@神戸大学、六甲周辺

- 【結 果】3 日間で 142 名の参加者



新入生勧誘企画(勧誘)

【目 的】新入生が楽しめる新歓行事をつくり、参加してもらうことで GI に興味を持ってもらい、説明会に参加してもらう

【概 要】勧誘活動を行う

【日時場所】 4月2日(水) 神戸大学のキャンパス全域
 4月2日(水) 鶴甲第一キャンパス体育館
 4月8日(火) LANS HALAL Vege Dinig
 4月10日(木) LANS HALAL Vege Dinig
 4月13日(月) 鶴甲第一キャンパス体育館
 4月14日(火) LANS HALAL Vege Dinig
 4月16日(水) LANS HALAL Vege Dinig
 4月17日(木) LANS HALAL Vege Dinig

【結 果】204 人(全日程)



第1号議案－2 事業報告書および決算関係書類等

2024 年度事業報告書

2024 年 3 月 1 日から 2025 年 2 月 28 日

作成 2025 年 3 月 25 日

兵庫県神戸市灘区六甲台町

備付 2025 年 5 月 5 日

神戸大学生協同組合

理事長 西野 友年

I. 組合の事業活動の概況に関する事項

1. 事業年度の末日における重要な事業活動の内容

事業種目		主な事業品目等
供給 及び 利用 事業	物品供給	書籍・学用品・教育機器・衣料品・電気製品・家具・その他組合員の日常生活に必要な物資を供給する事業
	サービス	国内・海外旅行等の旅行事業を取り扱う事業
	提 供	アパート・下宿の斡旋及び管理する事業 その他日常生活に必要なサービスを提供する事業 組合員に食事を提供する事業
その他		組合員のためのコープ共済商品の業務受託事業 組合員への教育・文化活動 就職活動支援情報提供の各種の取り組み、留学生等の支援、外国の協同組合との交流

2. 事業の経過及びその成果並びに対処すべき重要な課題

1. 事業の経過及びその成果

(1) 事業方針

2024 年度は活動計画の中心に【「通学＝生協利用」の強化】【コロナを言い訳としない事業・活動の構築】【新システムへの対応】【原点回帰】の4点を継続して取り組み、あらたに【新たなフォームによる剰余の確保】【人員体制の構築】【付加価値の探求】の3点を2024年度の活動方針として、事業・活動の高次化に取り組みました。

(2) 経済及び事業環境

新入生支援活動は、学習用PCの販売を除きほぼ計画通りに取り組むことができました。ただ、教科書を含む書籍や大学の校費利用の減少により、厳しい経営環境となりました。

(3) 事業の状況

厳しい環境の中、組合員の利用は増加しており、食堂を中心とした「食」に関する取り組みは増収となっていました。

(4) 事業経費

1) 組合員数及び出資金

当期末の組合員数は20,793名(前年度比△39名)、出資金額は3億7,714万円(前年比△61万円)となりました。この間進めていました、未返還出資金の整理による効果により、ほぼ2023年度と変わらない組合員数ならびに出資金額です。

2) 供給事業

総供給高は20億4,475万円で、前年度対比△0.2%、予算対比△1.3%となりました。

ショップ事業部では前年度対比△5.0%、予算対比△4.8%、フーサービス事業部では前

年対比+12.8%、予算対比+7.8%となり、供給高が大きく増加しました。ショップ事業部は、教科書を含む書籍や大学校費利用の減少が大きいです。また、仕入価格や燃料費の高騰により、供給総剰余金が予算よりも減収(取引条件の悪化)となり、これらの複合的要因にて減収となりました。

3) その他事業

1億5,366万円で、前年対比は△1.6%、予算対比△5.7%となり、減収ならびに予算未達成となりました。共済保険商品やキャリア支援関係の手数料が減収となりました。

4) 事業経費

人件費は4億5,330万円(前年対比+9.9%、予算対比+2.8%)で、物件費は2億8,440万円(前年対比+0.5%、予算対比+1.6%)です。人件費は、最低賃金の大きな改定、社会保険適用拡大、そして勤怠管理の変更が要因です。物件費は、新業態(手作りパン製造)のチャレンジ、合理化や衛生改善を目的とした設備投資、老朽化した設備・備品の入替(修理)もありました。ただ、昨年度に大きな影響が発生していました、水光熱費の使用料(大学からの請求)は減少しています。

5) 事業外損益

事業外収益は、未返還出資金の整理益1,026万円を雑収入に計上しました。事業外費用は、商品廃棄ロス(コピーカードや陳腐化した教科書)を46万円、整理益計上後の出資金返還33万円を雑損失に計上しています。

6) 特別損益

国からのキャリアアップ助成金150万円を、特別利益に計上しました。特別損失には固定資産除却損を17万円計上しています。

7) 当期剰余金

税引前当期剰余金は△3,026万円で、316万円の予算未達成となりました。法人税等を控除した当期剰余金は、△3,132万円となりました。

2. 対処すべき重要な課題

重要な展望と課題

価格改定による利用動向の分析ならびに校費利用減への対応が重要な課題です。

(1) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

(単位:円)

項 目	2021年度	2022年度	2023年度	本年度
組合員数(人)	20,909	21,042	20,832	20,793
出資金額	379,381,000	379,144,000	377,758,000	377,148,000
供給高	1,571,173,026	1,855,901,231	2,049,592,136	2,044,752,317
その他事業収入	145,843,710	157,865,430	156,293,766	153,664,025
経常剰余金	△ 104,682,091	△ 56,962,219	3,069,899	△ 31,598,541
総資産	684,523,804	772,570,372	790,857,600	745,463,718
純資産	182,418,921	258,987,624	259,347,169	227,408,695

(2) 供給事業の状況表

1) 部門別・業態別供給高の状況

(単位:円)

項 目	2021年度	2022年度	2023年度	本年度
[部門別供給高]				
購買	749,890,548	792,039,436	773,174,917	749,690,626
旅行サービス	265,837,779	324,325,348	435,913,268	399,874,574
書籍	267,590,889	263,898,487	257,579,428	236,647,439
食堂	287,553,235	475,722,492	582,959,115	658,568,415
その他	300,575	△ 84,532	△ 34,592	△ 28,737
合 計	1,571,173,026	1,855,901,231	2,049,592,136	2,044,752,317
[業態別供給高]				
店舗	1,571,173,026	1,855,901,231	2,049,592,136	2,044,752,317
合 計	1,571,173,026	1,855,901,231	2,049,592,136	2,044,752,317

2) 供給高の事業所別内訳

(単位:円)

店 舗 名	2021年度	2022年度	2023年度	本年度
鶴1ショップ	346,631,920	362,322,082	319,687,244	285,248,394
医学部店	184,055,517	184,388,814	175,344,643	186,130,296
保健学科店	18,342,850	21,033,245	21,644,321	19,509,044
BELBOXショップ	85,403,639	124,092,415	223,923,236	222,807,849
鶴2ショップ	9,777,379	15,064,145	15,110,954	15,014,630
キャリアデザイン企画課	3,419,819	5,073,972	6,889,094	3,093,617
深江ショップ	35,131,128	35,299,467	33,020,928	36,132,980
サービスセンター	255,088,430	329,518,040	452,202,429	406,306,822
LANSBOX店	35,316,820	45,597,038	53,510,201	55,515,734
学生会館店	166,570,546	113,648,820	—	—
Rabbit's Square	5,627,809	9,357,723	12,049,999	11,495,384
店舗支援課	672,753	—	55,619	—
キャンパスPC	155,736,363	165,046,389	186,933,838	183,764,874
鶴1食堂	11,434,934	62,260,839	81,944,676	90,490,833
BELBOXカフェテリア	10,407,725	31,959,449	43,122,468	65,929,405
レストランさくら	8,412,581	18,579,288	45,049,264	49,167,587
工学部食堂	117,935,233	162,003,152	183,089,629	193,288,146
LANSBOX食堂	48,409,575	66,310,695	78,717,793	85,795,159
瀧川記念会館食堂	480,911	—	—	—
鶴2食堂	4,862,597	14,971,847	16,052,985	17,906,687
医学部食堂	53,185,303	63,251,283	70,646,987	84,763,480
保健学科食堂	4,857,748	9,076,175	10,570,546	12,332,225
深江キッチン	9,411,446	17,046,353	20,025,282	20,059,171
合 計	1,571,173,026	1,855,901,231	2,049,592,136	2,044,752,317

※学生会館店は2022年8月にBELBOXショップと事業統合、瀧川記念会館食堂は2023年9月に閉店しました。

(3) 受託共済事業状況表

1) 加入者数の状況

(単位:件)

共済事業の種類		加入者数		
	元受団体名	本年度	前年度	前年比
学生総合共済 (生命共済)	日本コープ共済連	10,557	10,566	99.9
合 計		10,557	10,566	99.9

(注) 2025 年 2 月 28 日現在

2) 元受団体共済掛金及び共済金支払の状況

(単位:円、件)

共済事業の種類		元受団体共済掛金			共済金支払件数			共済金支払金額		
	元受団体名	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比	本年度	前年度	前年比
生命共済	日本コープ共済連	151,959	152,786	99.5	1,017	1,044	97.4	52,613	63,321	83.1
合 計		151,959	152,786	99.5	1,017	1,044	97.4	52,613	63,321	83.1

3. 増資及び資金の借り入れその他資金調達状況

該当する事項はありません。

4. 組合が所有する施設の建設または改修その他の設備投資状況

設備投資概況表

施 設 ・ 設 備 名	所 在 地	摘 要
工学部食堂 自動飯盛り機 2台	灘区六甲台町1-1	24年8月取得
LANSBOX食堂 冷媒配管・ドレン工事	灘区六甲台町1-1	24年8月取得
LANSBOX食堂 厨房用エアコン	灘区六甲台町1-1	24年8月取得
BELBOXショップ スズキエブリィ	灘区六甲台町2-1	24年10月取得
サービスセンター スズキワゴンR	灘区鶴甲1-2-1	24年11月取得
店舗支援課 ドウコンディショナ 2台	灘区鶴甲1-2-1	24年11月取得
店舗支援課 コンビオープン 2台	灘区鶴甲1-2-1	24年11月取得
店舗支援課 電気貯蔵式湯沸し器	灘区鶴甲1-2-1	24年11月取得
店舗支援課 冷凍庫	灘区鶴甲1-2-1	24年12月取得
LANSBOX食堂 縦型冷凍庫	灘区六甲台町1-1	25年1月取得
LANSBOX食堂 コールドテーブル	灘区六甲台町1-1	25年1月取得
鶴1食堂 冷凍庫	灘区鶴甲1-2-1	25年2月取得
LANSBOX食堂 ハイジェニックパワーモップ	灘区六甲台町1-1	25年2月取得
BELBOXショップ スズキエブリィ	灘区六甲台町2-1	期中除却
BELBOXショップ ホンダアクティ	灘区六甲台町2-1	期中除却
サービスセンター エブリィランディ	灘区六甲台町2-1	期中除却
鶴1食堂 5号湯沸し器	灘区鶴甲1-2-1	期中除却
鶴1食堂 ソフトクリームマシーン	灘区鶴甲1-2-1	期中除却
LANSBOX食堂 アイスメーカー	灘区六甲台町1-1	期中除却
鶴2食堂 グラムバイキングテーブル	灘区鶴甲3-11	期中除却
鶴2食堂 バイキングカウンター	灘区鶴甲3-11	期中除却

5. 他の法人との業務上の提携

業 務 提 携 先	所 在 地	提 携 内 容
大学生協事業連合	東京都杉並区和田3-30-22	業務委託
国立大学法人 神戸大学	神戸市灘区六甲台町1-1	業務受託

6. 他の会社を子会社等及び関連法人等とすることとなる場合における当該他の会社の株式または持分の取得

該当する事項はありません。

7. 事業の全部または一部の譲渡又は譲受け、合併その他の組織の再編成

該当する事項はありません。

8. 教育事業の状況

(単位:円)

項 目		金 額
当期に繰り越された教育事業等繰越金		0
教育事業等の使途		
科 目	内 容	金 額
教育文化費	新入生歓迎冊子	644,484
	組合員向け企画諸費用	487,893
	学生委員会機関紙発行	294,676
	学生委員会活動費	205,232
	新入生歓迎企画	103,461
	セミナー参加費	44,622
合 計		1,780,368

II. 組合の運営組織の状況に関する事項

1. 前事業年度における総代会の開催状況

第 67 回通常総代会

総代会開催日		2024年5月23日	
総代会日現在総代数			116名
出席総代数	本 人		1名
	代 理 人（委 任）		0名
	書 面		107名
合 計			108名
(重要な議事、議決事項および議決状況)			
第 1 号議案	2023年度事業報告・決算関係書類等承認の件	賛成107票 保留0票 反対0票	
第 2 号議案	2024年度事業計画及び予算決定の件	賛成106票 保留1票 反対0票	
第 3 号議案	役員選出の件	全員信任	
第 4 号議案	定款の一部変更	賛成107票 保留0票 反対0票	
第 5 号議案	総会および総代会運営規約の一部変更	賛成107票 保留0票 反対0票	
第 6 号議案	監事監査規則の一部変更	賛成107票 保留0票 反対0票	
第 7 号議案	役員報酬決定の件	賛成107票 保留0票 反対0票	

(注) 総代選挙は、総代選挙規約に基づいて行われ、135 人の定数に対して 116 人が立候補し、選挙の結果 2024 年 5 月 1 日当選人が公告されました。
定款上、議長は議決に加わる権利を有しません。

2. 組合員に関する事項

(1) 組合員出資金等増減表

(単位:円)

区 分	組合員数	口 数	組合員出資金総額	一人当組合員出資金額
期首現在	20,832	377,758	377,758,000	18,134
期首現在(学生・院生)	19,462	366,987	366,987,000	18,857
期首現在(教職員その他)	1,370	10,771	10,771,000	7,862
当期増加分(学生院生)	3,965	77,253	77,253,000	19,484
当期増加分(教職員その他)	256	1,792	1,792,000	7,000
当期減少分(学生院生)	4,087	78,713	78,713,000	19,259
当期減少分(教職員その他)	173	942	942,000	5,445
期末現在(学生院生)	19,340	365,527	365,527,000	18,900
期末現在(教職員その他)	1,453	11,621	11,621,000	7,998
期末現在	20,793	377,148	377,148,000	18,138

(2) 地区別組合員概況表

(単位:円)

区 分		組合員数	口 数	組合員出資金総額	一人当組合員出資金額
1.鶴甲第1地区	学生・院生	2,746	53,675	53,675,000	19,547
	教職員	63	352	352,000	5,587
2.六甲台地区	学生・院生	4,621	87,355	87,355,000	18,904
	教職員	73	744	744,000	10,192
3.文理農学部地区	学生・院生	4,390	86,143	86,143,000	19,623
	教職員	1,010	7,465	7,465,000	7,391
4.工学部地区	学生・院生	3,203	61,505	61,505,000	19,202
	教職員	67	650	650,000	9,701

5.鶴甲第2地区	学生・院生	540	10,198	10,198,000	18,885
	教職員	37	338	338,000	9,135
6.楠地区	学生・院生	1,114	21,660	21,660,000	19,443
	教職員	138	1,622	1,622,000	11,754
7.名谷地区	学生・院生	984	19,556	19,556,000	19,874
	教職員	13	125	125,000	9,615
8.深江地区	学生・院生	1,133	22,390	22,390,000	19,762
	教職員	10	115	115,000	11,500
9.附属中等教育学校地区	学生・院生	609	3,045	3,045,000	5,000
	教職員	42	210	210,000	5,000
合 計	学生・院生	19,340	365,527	365,527,000	18,900
	教職員	1,453	11,621	11,621,000	7,998
総 計		20,793	377,148	377,148,000	18,138

3. 役員に関する事項

(1) 役員一覧

役 名	氏 名	担当	就 任 年 月 日	略 歴 等
理 事 長 (代表理事)	西野 友年	学生委員会委員長 ショップ事業部長	2009年5月27日	理学研究科教員 2019年5月より理事長
専 務 理 事 (代表理事)	坂本 安弘		2015年5月28日	2015年5月より専務理事
常 任 理 事	朴 鐘祐		2011年5月27日	人文学研究科教員 2020年5月より常任理事
〃	宮田 祥羽		2022年5月26日	工学部4年生
〃	西田 駿		2023年5月25日	工学部3年生
〃	岡川 功		2018年5月24日	生協職員 2018年5月より常任理事
理 事	向井 洋一		2013年5月27日	工学研究科教員
〃	横川 博一		2015年5月28日	大学推進機構教員
〃	石丸 幸勢		2015年5月28日	附属中等教育学校教員
〃	小澤 卓也		2020年5月30日	国際文化学研究科教員
〃	元井 直樹		2022年5月26日	海事科学研究科教員
〃	橋本 直人		2024年5月23日	人間発達環境学研究科教員
〃	畑中 美南		2023年5月25日	国際人間科学部3年生
〃	越智 亜未		2023年5月25日	法学部3年生
〃	守谷 彩花		2023年5月25日	工学部3年生
〃	古橋 みのり		2023年5月25日	農学部3年生
〃	川崎 海音		2023年5月25日	農学部3年生
〃	木下 幸喜		2024年5月23日	国際人間科学部2年生
〃	森本 紗代		2024年5月23日	国際人間科学部2年生
〃	黒岩 周平		2024年5月23日	経済学部2年生
〃	辻野 康生		2024年5月23日	経営学部2年生
〃	飯田 陽向		2024年5月23日	工学部2年生
〃	齋藤 春香		2024年5月23日	農学部2年生
〃	小川 晏奈		2024年5月23日	医学部保健学科2年生
〃	木村 祐一		2016年5月26日	生協職員
監 事	大谷 恭弘		2017年5月26日	工学研究科教員
〃	小紫 裕正		2021年5月27日	学外者
〃	中出 麻紀		2024年5月23日	大学職員

(2) 事業年度中に辞任した役員

役 名	氏 名	辞任期日	理 由
理 事	黒岩 周平	2024年10月22日	一身上の都合

(3) 役員賠償責任保険契約

当生協が2023年12月22日の理事会決議にて加入した役員賠償責任保険契約の内容の概要は以下の通りです。

保険名称	日本生協連の生協役員賠償責任保険（会社役員賠償責任保険）
保険契約者	日本生活協同組合連合会
保険期間	2023年4月1日～2024年4月1日
被保険者の範囲	当生協のすべての理事及び監事
保険契約の内容の概要	被保険者が役員としての業務につき行った行為（不作為を含む。）に起因して損害賠償請求がなされたことにより、被保険者が被る損害賠償金や争訟費用等を保証するもの。ただし、贈収賄などの犯罪行為や意図的に違法行為を行った役員自身の損害等は補償対象外とすることにより、役員等の職務の執行の適正性が損なわれないようにするための措置を講じている。 保険料は全額当生協が負担する。

4. 職員数及びその増減その他の職員の状況

職員状況表

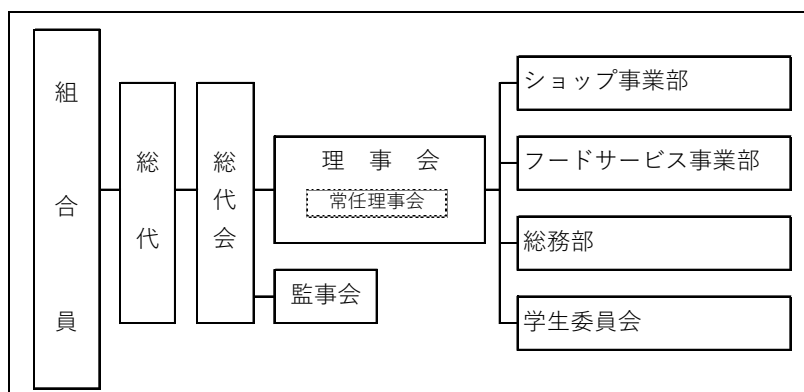
区 分		前期末数	当期末数	平均年齢 平均勤続年数
正規職員		16名	18名	42歳 12年
定時職員	時間数 (総数)	196,763時間 (198名)	203,480時間 (223名)	
	正規換算数	98名	102名	

(注1) 正規職員の総人数は、年間2,000時間をもって1名として換算しています。

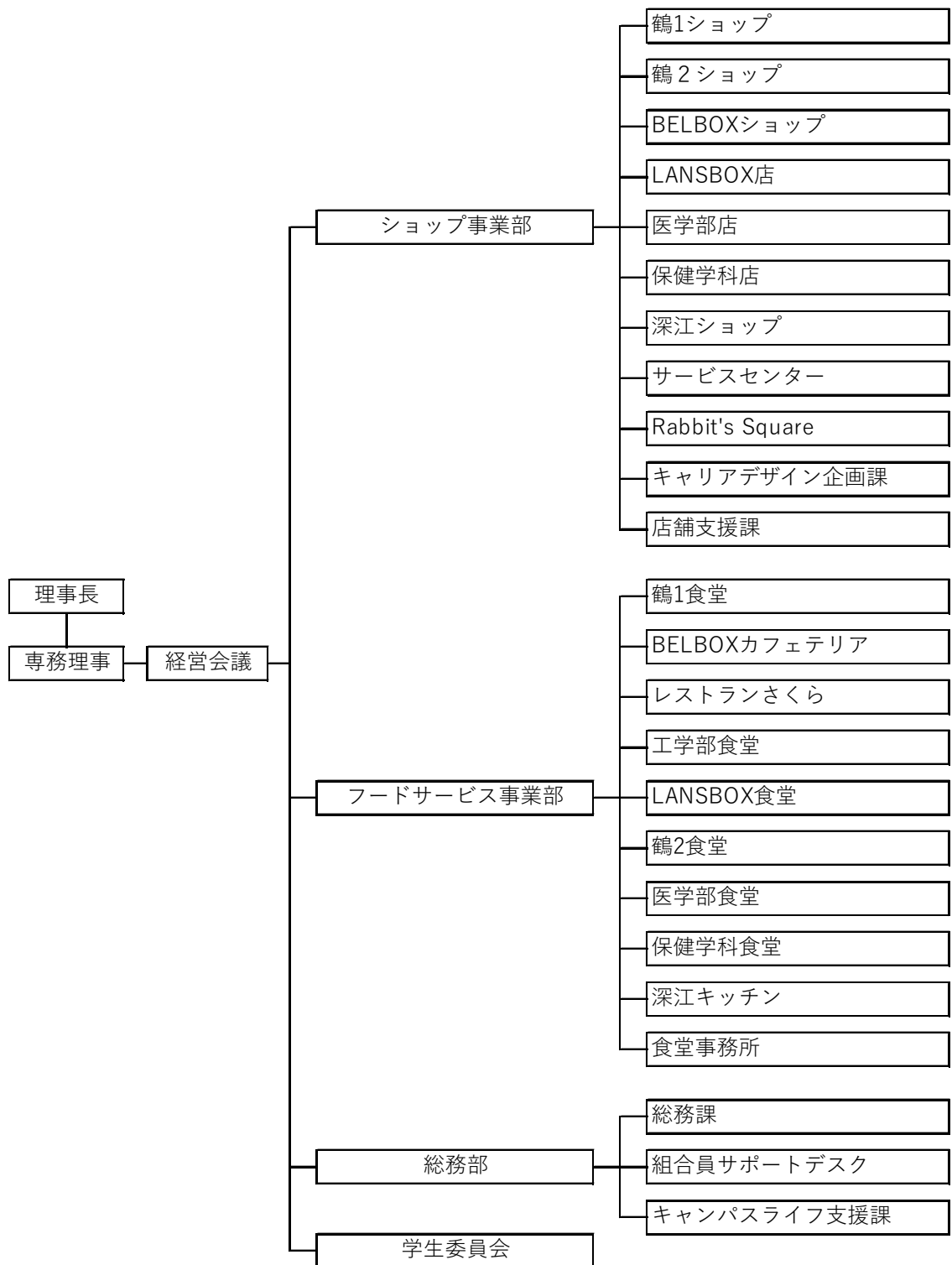
(注2) 上表には出向受入者1名を含んでいません。

5. 業務の運営の組織に関する事項

(1) 運営組織図



(2) 経営組織図



6. 施設の設置状況に関する事項

施設一覧表

土地・建物は、国立大学法人神戸大学より無償にて使用許可頂いています。

この表では、当該施設の面積(単位 m²)と新営・増築、または改装の時期を示しています。

なお、食堂は厨房面積ではなく、食堂ホール部分も含めて表示しております。

施設名	所在地	面積 (m ²)	概要
1. 総務部	灘区鶴甲1-2-1	199.19	1987年 4月新営 2013年 9月改装
2. 食堂・喫茶・ショップ 鶴1食堂	灘区鶴甲1-2-1	960.0	1964年 3月新営 1994年 9月増築 2008年12月改装 2016年 9月改装 2024年11月改装 ※厨房の一部をベーカリー製造に改装
BELBOXカフェテリア	灘区六甲台町2-1	939.0	2003年 1月新営
レストランさくら	灘区六甲台町2-1	352.0	2003年 1月新営
工学部食堂	灘区六甲台町1-1	441.7	1973年 3月新営 2006年 2月改装 2014年 8月改装 2020年8月改装※1 ※工学部店をテイクアウト手作り弁当コーナーへ改装(50.7m ²)
LANSBOX食堂	灘区六甲台町1-1	533.0	1985年 4月新営 2016年 9月2階食堂改装
鶴2食堂	灘区鶴甲3-11	378.0	1968年11月新営 2007年 3月改装 2008年12月改装 2021年 3月改装
医学部医学科食堂	中央区楠町7-12-1	701.0	1988年 4月新営 2010年 6月移転
医学部保健学科食堂	須磨区友が丘7-10-2	240.0	1984年 4月新営 2021年 4月改装
滝川記念学術会館食堂	灘区六甲台町1-1	190.0	1991年10月新営 2023年 9月閉店
深江キッチン	東灘区深江南町5-1-1	224.0	2003年10月新営 2021年 7月改装
鶴1ショップ	灘区鶴甲1-2-1	406.64	1964年 3月新営 1979年11月増築 2008年 8月改装
サービスセンター	灘区鶴甲1-2-1	82.69	1964年 3月新営 1996年 9月増築 2008年12月改装
BELBOXショップ	灘区六甲台町2-1	667.22	2003年 1月新営 2022年 8月増設※2 ※学生会館店を事業併合(321.3m ²)
LANSBOX店	灘区六甲台町1-1	132.82	1985年 4月新営 2005年 9月改装 2006年 9月改装 2011年 2月改装 2012年 9月改装
鶴2ショップ	灘区鶴甲3-11	68.04	1968年11月新営 1982年10月改装 2007年 3月改装 2008年12月改装
医学部医学科店	中央区楠町7-12-1	100.0	1988年 4月新営 2010年 8月改装 2023年 6月移転
医学部保健学科店	須磨区友が丘7-10-2	48.75	1984年 4月新営 2010年12月改装 2021年 4月改装
深江ショップ	東灘区深江南町5-1-1	107.8	2003年10月新営 2021年 7月改装
Rabbit's Square	東灘区住吉山手5-11-1	25.28	2014年10月新営 2015年 4月営業開始 2024年8月移転
3. 倉庫 書類倉庫	灘区鶴甲1-2-1	45.13	2002年10月新設

※附属学校ショップをRabbit's Squareに店舗名を2024年9月2日に変更しました。

国際文化学部食堂を鶴1食堂、国際文化学部店を鶴1ショップ、発達科学部食堂を鶴2食堂、発達科学部店を鶴2ショップ、海事科学部食堂を深江キッチン、海事科学部店を深江ショップに2024年12月1日に店舗名を変更しました。

7. 子会社等及び関連法人等の状況に関する事項

該当する事項はありません

8. 事業連合に関する事項

(1) 事業連合の概要

区分	関連法人等
会社名	生活協同組合連合会大学生協事業連合
所在地	東京都杉並区和田3-30-22
代表者氏名	理事長 井内 善臣
設立年月日	1969年10月1日創立、同年12月19日都知事認可
事業内容	(1)会員の事業に必要な物資を購入し、これに加工もしくは加工しない (2)会員の組合員の生活に有用な協同施設を設置し、会員及び会員の組 (3)会員の組合員の生活の改善及び文化の向上を図るために必要な行事 (4)会員、会員の組合員及び役職員並びにこの会の役職員の組合事業に (5)会員の組合員のための宅地建物取引業法に基づく宅地建物取引業 (6)会員の組合員のための旅行業法に基づく旅行業に関する事業 (7)会員の組合員のための古物営業法に基づく古物営業に関する事業 (8)会員の利用に供する計算、運搬に関する事業 (9)会員の事業の支援、連絡並びに調整に関する事業 (10)前各号の事業に附帯する事業
設立の理由	協同互助の精神に基づき、全国大学生生活協同組合連合会と提携し大学生生活協同組合の協同事業の中心として事業活動ならびに各種活動を行って会員事業の発展をはかり会員組合員の生活の経済的文化的向上をはかることを目的として設立されました。
出資金及び総口数	出資金 4,871,140千円 総口数 487,114口
当組合の出資額及び口数	出資金 63,100千円 総口数 6,310口
決算月日	2025年2月28日
主な出資生協	全国大学生生活協同組合連合会 800,000千円
	東京大学消費生活協同組合 183,080千円
	立命館生活協同組合 158,190千円
	京都大学生生活協同組合 140,310千円
	東北大学生生活協同組合 136,660千円
	その他184大学生生活協同組合 3,452,900千円

(2) 事業連合の決算概況

(単位：千円)

資産・負債・純資産の状況		
法 人 名	生活協同組合連合会大学生協事業連合	
科目\決算期	2025年2月28日 (58期)	
資 産 の 部	流 動 資 産	30,637,534
	固定資産	8,001,321
	資産合計	38,638,855
負 債 の 部	流動負債	34,282,803
	固定負債	1,823,939
	負債合計	3,610,674
純 資 産 の 部	出資金	4,871,140
	剰余金	△ 2,339,027
	評価・換算差額等	—
	純資産合計	2,532,112
負債及び純資産合計		38,638,855

(注) 上記貸借対照表は、当事業報告書作成時点では大学生協事業連合は総会の議決を経ていませんので確定しておりませんが、事業連合代表理事から示された決算関係書類に基づいて記載しています

(3) 事業連合の損益状況(決算期：2025 年 2 月 28 日)

(単位：千円)

損益の状況	
科目\決算期間	2024年3月1日～2025年2月28日
供給高	91,351,532
供給剰余金	2,102,603
事業剰余金	315,690
経常剰余金	421,656
当期剰余金	394,432
当期末処分剰余金	△ 2,339,027

(注) 上記損益計算書は、当事業報告書作成時点では大学生協事業連合は総会の議決を経ていませんので確定しておりませんが、事業連合代表理事から示された決算関係書類に基づいて記載しています

(4) 事業連合との取引等の状況

(単位:円)

区 分	経常収益		経常費用		その他取引		
	供給高	その他	仕入高	その他	収 益	費 用	その他
大学生協事業連合	0	0	1,368,983,571	124,431,852	0	0	0
対取引高率 (%)			94.22				

9. その他組合の組織運営の状況に関する重要な事項

(1) 当組合の内部統制に関する基本方針(2023 年 10 月 27 日開催 第 5 回理事会)

神戸大学生協は、組合員と大学の期待に応え、さらなるキャンパスライフの向上を目指すために事業・活動を行います。この前提として、神戸大学生協は「業務の有効性及び効率性」「財務報告の信頼性」「事業活動に関わる法令等の遵守」「資産の保全」の 4 つの目的を達成するために必要な内部統制の整備に関する基本方針(以下「基本方針」)を次の通り定めます。

1. 理事・委員及び職員の職務の執行が、法令・定款などに適合することを確保します
2. 損失の危険の管理を行います
3. 財務報告を適正に作成します
4. 理事・委員及び職員の職務の執行が効率的に行われるようにします

(2) 2024 年度の内部統制行動計画

1. 理事・委員及び職員の職務の執行が、法令・定款などに適合することを確保します
 - ▶理事会・代表理事は、法令や定款の遵守が重要であり、経済的利益に優先することを自覚して、常にこの立場で意思決定・業務執行に当たります。
2. 損失の危険の管理を行います
 - ▶新型コロナウイルス感染症の位置づけが 2 類から 5 類となり、行動制限等が大きく緩和されました。ただ引き続き、感染防止ならびに職員の健康管理を行います。
 - ▶食中毒・個人情報事故を発生させると組合員にも大きな損害が及ぶことを自覚し、理事会で専務理事からこの危機への対処状況の報告を受け確認します。
3. 財務報告を適正に作成します
 - ▶理事会は、当期の損益状況が剰余金あるいは損失金に関わらず、適正な財務報告を作成することが理事会の責務と確認します。
 - ▶専務理事は、損失隠し・不良資産隠しは法令違反であり、組合員への背信行為だと自覚し常に適正な財務報告をまとめ理事会に提案する姿勢を堅持します。
 - ▶専務理事は、在庫・未収金・買掛金・預り金・出資金・固定資産などで実態と帳簿残高の差異が生じやすいことを踏まえ、職員と適切に分担して実態を帳簿残高に表現するように努めます。また、職員に対し少なくとも毎年の決算の前(12-1 月)に 1 回以上、決算書に表現していない不良在庫・未収金等を正しく処理することを指示します。
 - ▶専務理事は、法令に基づきこれらの書類を作成し、理事会に提案します。
4. 理事・委員及び職員の職務の執行が効率的に行われるようにします
 - ▶理事会は、理事会規則に基づき年 12 回程度開催し、必要な事項を文書または口頭にて簡潔に報告し、理事会で議決すべき事項をもれなく決するほか、そのときどきの状況に応じた重要な事項について時間をとって協議し必要な意思決定を行います。
 - ▶専務理事は、自らの重点や各役職者の分担等が適切か、精選する業務は何か、新しい課題を実行するために適切な配置がされているか、従来専務理事や正規職員が担当してきた業務のうち新たにパートタイマーに担わせる業務は何か等に十分な関心を払い、特に新年度の事業計画を検討する際にこれを文章化して理事会に報告します。
 - ▶専務理事及び各職員は、店舗等での現在の作業方法・分担・作業環境・各作業に要する時間・日々の稼働計画等を当然だと考えず、意思と目標を持って改善をすすめ、経営効率を高め続けます。

- 専務理事及び各職員は、「神戸大学職員行動指針」を確認し、それに基づく事業・活動を行うことでより高い成果を上げられることを確信し、努力を重ねるよう努めます。

【神戸大学職員行動指針】

神戸大学生協、並びに生協スタッフはキャンパスコミュニティーの一員です。
以下の3項目を十分に理解し、組合員サービスに努めます。

1. C 4 C (Communication for Cross Function) ⇒ 対話による垣根撤回

スタッフは店舗運営が円滑に行えるように、コミュニケーションを意識し、スタッフ間の意見交換・情報共有を常に行う。

また、店舗・事業部・キャンパスに囚われず、ともにコミュニケーションのネットワークをもって組合員の利便性を向上させる。

2. A & A (Analyze and Act) ⇒ 分析と行動力

スタッフはキャンパスの特徴を捉え、常に組合員の要望を把握することに努める。また、組合員の要望に応えることができるように、収支を考慮しながら創意工夫をもって対応する。

3. f ~ F (The fan from The fun) ⇒ 楽しさからファンを

スタッフは組合員が利用し易く、来店することで「ワクワクする」「ホッとする」等が感じられる鮮度のある店舗作りを目指す。組合員の来店頻度の向上、購入点数増等、いっそうの利用の増加につながるように尽力する。



- Ⅲ その他組合の状況に関する重要な事項
該当する事項はありません。

2024 年度 事業報告書の附属明細書

2024 年 3 月 1 日から 2025 年 2 月 28 日まで

作成 2025 年 3 月 25 日

備付 2025 年 5 月 5 日

兵庫県神戸市灘区六甲台町

神戸大学生生活協同組合

理事長 西野 友年

1. 役員報酬等の状況

役員報酬明細

区 分	定款上の定員(人)	支払人数(人)	報酬等支払額	摘 要
理 事	20～25 人	1 名	9,386,284 円	理事報酬の限度額：1,000 万円
監 事	3～5 名	0 名	0 円	
合 計	23～30 人	1 名	9,386,284 円	

2. 役員と他の法人等の業務執行者兼務状況

区 分	常勤・非常勤の別	代表権の有無	氏 名	兼務先名	兼務先での役職名
理 事	常 勤	有	坂本 安弘	株式会社コープリビングサービス	取締役
	〃	〃	〃	神戸親和大学生生活協同組合	専務理事
	〃	〃	〃	兵庫県生活協同組合連合会	理 事
	〃	〃	〃	一般社団法人ひょうご大学生支援機構	〃
理 事	非常勤	無	木村 祐一	神戸親和大学生生活協同組合	理 事

3. 組合と役員との間の利益が相反する取引の明細

該当する事項はありません。

4. 事業連合に関する事項

事業連合に対する債権・債務明細表

①債権明細表

(単位:円)

区 分	短期債権			長期債権		
	期首残高	期末残高	当期増減額	期首残高	期末残高	当期増減額
大学生協事業連合	5,057,505	5,473,360	415,855	0	0	0

②債務明細表

(単位:円)

区 分	短期債権			長期債権		
	期首残高	期末残高	当期増減額	期首残高	期末残高	当期増減額
大学生協事業連合	217,883,021	158,333,665	△ 59,549,356	0	0	0

5. その他事業報告書の内容を補足する重要な事項

開示すべき重要な事項はありません。

2024 年度 決算関係書類

2024 年 3 月 1 日から 2025 年 2 月 28 日まで

作成 2025 年 3 月 25 日
備付 2025 年 5 月 5 日

兵庫県神戸市灘区六甲台町
神戸大学生生活協同組合
理事長 西野 友年

1. 貸借対照表

貸 借 対 照 表 (2025 年 2 月 28 日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流 動 資 産	626,990,141	流 動 負 債	466,026,524
現 金 預 金	335,208,137	買 掛 金	190,099,284
供 給 未 収 金	95,873,922	未 払 金	16,616,225
商 品 及 び 原 材 料	185,269,473	未 払 法 人 税 等	1,023,000
立 替 金	435,761	未 払 消 費 税 等	23,884,900
前 払 費 用	2,312,406	未 払 費 用	6,972,198
未 収 金	8,848,442	前 受 金	115,570,193
貸 倒 引 当 金	△ 958,000	預 り 金	104,469,701
		賞 与 引 当 金	6,927,000
固 定 資 産	118,473,577	ポ イ ン ト 引 当 金	464,023
有 形 固 定 資 産	30,014,617		
建 物 及 び 附 属 設 備	59,661,030	固 定 負 債	52,028,499
減 価 償 却 累 計 額	△ 57,392,795 2,268,235	退 職 給 付 引 当 金	46,219,437
構 築 物	2,935,180	役 員 退 職 給 与 引 当 金	5,809,062
減 価 償 却 累 計 額	△ 2,904,518 30,662		
車 両 運 搬 具	13,658,804	負 債 合 計	518,055,023
減 価 償 却 累 計 額	△ 12,326,061 1,332,743		
器 具 備 品	214,207,960	(純 資 産 の 部)	
減 価 償 却 累 計 額	△ 187,824,983 26,382,977	組 合 員 資 本	
		出 資 金	377,148,000
無 形 固 定 資 産	4,503,960		
ソ フ ト ウ ェ ア	1,517,096	剰 余 金	
電 話 加 入 権	2,986,864	当 期 未 処 理 損 失 金	149,739,305
		(う ち 当 期 損 失 金)	(31,328,474)
そ の 他 固 定 資 産	83,955,000		
関 係 団 体 等 出 資 金	81,905,000		
差 入 保 証 金	2,050,000		
		純 資 産 合 計	227,408,695
資 産 合 計	745,463,718	負 債 ・ 純 資 産 合 計	745,463,718

2. 損益計算書

損 益 計 算 書 (自 2024 年 3 月 1 日 至 2025 年 2 月 28 日)

(単位:円)

科 目	金 額	
供給事業		
供給高	2,044,752,317	
供給値引	21,234,314	2,023,518,003
供給原価		
期首商品棚卸高	225,294,599	
仕入高	1,452,920,678	
期末商品棚卸高	185,269,473	1,492,945,804
供給総剰余金		530,572,199
その他事業収入		
共済受託手数料収入	22,966,334	
教育文化事業収入	872,076	
供給事業手数料収入	660,320	
不動産賃貸収入	2,011,814	
その他手数料収入	127,153,481	153,664,025
事業総剰余金		684,236,224
事業経費		
人件費	453,307,571	
物件費	284,405,374	737,712,945
事業損失金		53,476,721
事業外収益		
受取利息	207,425	
受取配当金	25,000	
雑収入	22,986,029	23,218,454
事業外費用		
雑損失	1,340,274	1,340,274
経常損失金		31,598,541
特別利益		
その他特別利益	1,500,000	1,500,000
特別損失		
固定資産除却損	170,062	170,062
税引前当期損失金		30,268,603
法人税等		1,059,871
当期損失金		31,328,474
当期首繰越損失金		118,410,831
当期末処理損失金		149,739,305

3. 損失処理案

2024 年度損失処理案

(単位：円)

項 目	金 額
I 当期末処理損失金	149,739,305
II 次期繰越損失金	149,739,305

2025 年 5 月 28 日

神戸大学生生活協同組合

注 記

4. 個別注記表

この決算関係書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成されています。

1. 重要な会計方針にかかる事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法は以下のとおりです。

棚卸資産の評価基準及び評価方法

【商品】	書籍・購買	売価還元法による原価法
	食堂(食材)	最終仕入原価法による原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法は以下のとおりです。

①有形固定資産	定率法	主な 耐用 年数	建物	7 年～50 年
1998 年 4 月 1 日以後に取得した建物及び 2016 年 4 月 1 日以後に取得した建物 附属設備・構築物については定額法			建物附属設備	3 年～18 年
			構築物	5 年～14 年
			器具備品	2 年～20 年
			車両運搬具	2 年～7 年
②無形固定資産	定額法	ソフトウェアは利用期間(5 年)に基づく定額法		

(3) 引当金の計上基準は下記の通りです。

①貸倒引当金	債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権は法人税法に定める一括評価金銭債権に係る繰入率による繰入限度相当額、及び貸倒懸念債権については、回収可能性を検討して回収不能見込額を計上しています。
②賞与引当金	職員の賞与の支給に備えるため、支給見込み額の当期負担額を計上しています。
③ポイント引当金	供給促進をはかるために生協電子マネーシステムにて付与したポイントの期末における未使用残高を計上しています。
④退職給付引当金	退職給付会計に関する注記に記載しています。
⑤役員退職給与引当金	役員の退職金の支給に備えるため、役員退職金規定による期末要支給額相当額を計上しています。

(4) 収益及び費用の計上基準

当組合の収益の主な内訳は、供給高、その他事業収入です。供給高は、組合員に対する商品またはサービスの引渡時点で計上しています。その他事業収入は、組合員に対する役務提供完了時点で収益を計上しています。

(5) その他決算関係書類の作成のための基本となる重要な事項は以下のとおりです。

消費税の会計処理

消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しています。

2. 表示方法の変更に関する注記

未返還出資金の整理益に関して、これまでの特別利益から事業外収入(雑収入)への計上に変更しました。整理益は毎年度末に計上しており、臨時的に発生した利益を計上する特別利益に適さないと考えました。

3. 損益計算書に関する注記

(1) 事業外損益の主な内訳は以下のとおりです。

①事業外収入

(単位:円)

受取利息	207,425	預金利息
受取配当金	25,000	出資配当金等
雑収入		
組合員出資金整理益	10,265,000	
トレイ広告料	5,415,023	
DM発送協力金	3,830,655	
生協利用券未使用精算	777,286	
車両保険(全損)	606,000	
学生生活110番払込書作成費用	531,384	
共済普及援助金	296,000	
就活セミナー協力金	277,610	
障害者雇用調整給付金	200,000	
共済加入申込書作成費用補助	187,019	
貸倒引当金戻入益	16,000	
就活サポートセミナー労務費戻入	181,820	
段ボール等回収手数料	99,900	
その他	302,332	

②事業外費用

(単位:円)

雑損失		
経年度会計科目修正	392,075	
出資金整理後返還金	331,000	
商品廃棄ロス	464,363	
消費税精算違算	72,501	
その他	80,335	

(2) 特別損益の主な内訳は以下のとおりです。

(単位:円)

特別利益	キャリアアップ助成金	1,500,000	
特別損失	固定資産除却損	170,062	

(3) 法人税等は住民税です。

4. 退職給付会計に関する注記

(1) 退職給付債務の計上

職員の退職により支給する退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務(簡便法による期末自己都合退職要支給額を採用)及び年金資産の見込額をもとに計算した金額を退職給付引当金として計上しています。

(2) 採用する退職給付制度

正規職員の退職により支給する退職給付にあてるため、退職一時金制度、企業年金基金制度を採用し、定時職員は退職一時金制度のみを採用しています。

(3) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	48,357,900円
退職給付費用	4,696,454円
退職給付の支払額	△ 4,342,917円
年金制度への拠出額	△ 2,492,000円
退職給付引当金の期末残高	<u>46,219,437円</u>

(4) 退職給付債務及び年金資産と退職給付引当金の調整表

積立型制度の退職給付債務	79,258,483円
年金資産	△ 33,039,046円
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	<u>46,219,437円</u>
退職給付引当金	<u>46,219,437円</u>
貸借対照表に計上された負債と資産の純額	<u>46,219,437円</u>

(5) 退職給付に関連する損益

簡便法で計算した退職給付費用	4,696,454円
----------------	------------

(6) 企業年金制度について

このほかに、職員については日生協企業年金基金に加入していますが、複数の事業主による総合設立型基金のため退職給付債務等は計上していません。

尚、複数事業主制度に関する事項は以下の通りです。

①制度全体の積立状況に関する事項

年金時価資産額	47,703,229,482円	(2025年2月末日)
数理債務	34,777,008,000円	(2024年3月末日)
差引額	12,926,221,482円	

②制度全体に占める当生協の掛金拠出割合(2025年2月分) 0.10488%

③補足説明

1) 基準日時点の数理債務は年金時価資産額の基準日時点まで増加し、差引額は減少するものと予想されます。

2) 過去勤務債務残高はありません。

3) 2023年度の繰越剰余金は12,569,270,479円です。

内訳は、別途積立金7,282,728,878円と責任準備金のうち、新財政運営基準により積み立てられた実質的な剰余金相当額の累計額は5,286,541,601円の合計額となります。

5. 金融商品に関する注記

(1) 金融商品の時価等に関する事項

2025年2月28日現在における当生協の貸借対照表計上額と時価の差額があるものはありません。なお、関係会社等株式、関係団体出資金は時価を把握することが極めて困難な市場価格のない株式等です。

6. 関連当事者との取引に関する注記
組合

(単位:円)

種類	法人等の 名 称	資本金または 出 資 金	議決権 割 合	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額	科目	期末残高
関連法人	大学生協 事業連合	4,871,140,000	直接 0.52%	仕入先 役員兼任1 名	商品仕入	1,368,983,571	前渡金	0
					業務委託	56,726,000	買掛金	157,705,031
					経費仕入	48,426,152	未払金	628,634
					NR-G使用料	19,279,700	未収金	5,473,360

2024 年度 決算関係書類の附属明細書

1. 組合員資本の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
組 合 員 出 資 金	377,758,000	79,045,000	79,655,000	377,148,000	
当期末処分剰余金	△ 118,410,831	0	31,328,474	△ 149,739,305	
合 計	259,347,169	79,045,000	110,983,474	227,408,695	

2. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:円)

資 産 の 種 類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	当期償却額	期末帳簿価額	減価償却累計額	期末取得原価
建 物	350,013	0	0	63,528	286,485	15,465,960	15,752,445
建 物 附 属 設 備	1,741,639	497,275	0	257,164	1,981,750	41,926,835	43,908,585
構 築 物	60,011	0	0	29,349	30,662	2,904,518	2,935,180
車 両 運 搬 具	21,329	1,802,700	3	491,283	1,332,743	12,326,061	13,658,804
器 具 備 品	21,131,093	12,971,230	170,059	7,549,287	26,382,977	187,824,983	214,207,960
有形固定資産計	23,304,085	15,271,205	170,062	8,390,611	30,014,617	260,448,357	290,462,974
ソ フ ト ウ エ ア	1,387,591	568,500	0	438,995	1,517,096		
電 話 加 入 権	2,986,864	0	0	0	2,986,864		
無形固定資産計	4,374,455	568,500	0	438,995	4,503,960		
合 計	27,678,540	15,839,705	170,062	8,829,606	34,518,577		

3. 関係団体出資金の明細

(単位:円)

出 資 先	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
関係団体出資金					
大学生協事業連合	82,630,000	0	19,530,000	63,100,000	
全国大学生生活協同組合連合会	15,840,000	0	0	15,840,000	
兵庫県生活協同組合連合会	100,000	0	0	100,000	
兵庫県の留学生を支える協同基金	1,700,000	0	350,000	1,350,000	
株式会社 H A T A	15,000	0	0	15,000	
コープ共済連	1,000,000	0	0	1,000,000	
ひょうご大学生支援機構	500,000	0	0	500,000	
合 計	101,785,000	0	19,880,000	81,905,000	

4. 引当金の明細

(単位:円)

区 分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備考
貸倒引当金	974,000	0	16,000	958,000	
賞与引当金	6,753,500	6,927,000	6,753,500	6,927,000	目的使用
ポイント引当金	331,199	132,824	0	464,023	
役員退職給与引当金	5,243,798	565,264	0	5,809,062	

退職給付引当金の明細については 2024 年度決算関係書類の 4.個別注記事項 4.退職給付会計に関する注記を参照してください。

6. 事業経費の明細

(単位:円)

科 目	金 額
1. 人件費	
役員報酬	9,386,284
職員給与	83,950,639
定時職員給与	297,953,851
退職給付費用	4,696,454
法定福利費	42,026,734
厚生費	3,423,811
役員退職給与引当金繰入額	565,264
賞与引当金繰入額	6,927,000
派遣人件費	4,377,534
人件費合計	453,307,571
2. 物件費	
教育文化費	1,780,368
広報費	8,574,177
消耗品費	35,710,795
物流費	1,850,880
車両運搬費	10,890,471
ポイント引当金繰入額	132,824
施設維持管理費	20,664,279
減価償却費	8,829,606
賃借料	2,493,104
水道光熱費	39,021,190
保険料	1,724,000
委託料	55,571,852
研修採用費	5,019,463
調査研究費	395,028
会議費	740,296
諸会費	7,442,771
渉外費	204,296
租税公課	510,900
通信交通費	11,184,875
雑費	14,938,199
事業連合委託費	56,726,000
物件費合計	284,405,374
事業経費合計	737,712,945

7. 事業の種類ごとの損益の明細及び事業別事業経費明細

事業は供給のみのため、事業の種類ごとの損益の明細及び事業別事業経費明細は、損益計算書及び事業経費の明細と同じです。

8. キャッシュ・フロー計算書

間接法

自 2024 年 3 月 1 日 至 2025 年 2 月 28 日

(単位:円)

Ⅰ 事業活動によるキャッシュフロー	
税引前当期剰余金	△ 30,268,603
減価償却費	8,829,606
貸倒引当金の増減額	△ 16,000
賞与引当金の増減額	173,500
退職給付引当金の増減額	△ 2,138,463
役員退職給与引当金の増減額	565,264
受取利息および受取配当金	△ 232,425
固定資産除却損	170,062
供給債権の増減額	△ 310,049
棚卸資産の増減額	40,025,126
その他流動資産の増減	921,594
仕入債務の増減額	△ 62,285,885
未払消費税等の増減額	14,357,500
未払金・未払費用の増減	3,923,066
前受金・預り金等の増減	31,816,786
ポイント引当金の増減	132,824
小 計	5,663,903
利息および配当金等の受取額	232,425
法人税等の支払額	△ 1,059,871
事業活動によるキャッシュフロー	4,836,457
Ⅱ 投資活動によるキャッシュフロー	
固定資産の取得による支出	△ 15,839,705
関係団体等出資金の出資減資	19,880,000
投資活動によるキャッシュフロー	4,040,295
Ⅲ 財務活動によるキャッシュフロー	
組合員出資金の増減額	△ 610,000
財務活動によるキャッシュフロー	△ 610,000
Ⅳ 現金及び現金同等物の増減額	8,266,752
Ⅴ 現金及び現金同等物期首残高	296,941,385
Ⅵ 現金及び現金同等物期末残高	305,208,137

(注) 現金及び現金同等物の範囲

(単位:円)

項 目	期 首	期 末
現金及び預金	326,941,385	335,208,137
預入期間が 3 か月を超える定期預金	△ 30,000,000	△ 30,000,000
現金及び現金同等物	296,941,385	305,208,137

9. 主要な事業に関わる資産及び負債の内容その他の決算関係書類の内容を補足する重要な事項

(1) 主な資産の内容

①現金預金の明細

(単位:円)

科 目	内 訳	期首残高	期末残高	当期増減額
現金預金	現 金	18,461,457	20,792,501	2,331,044
	当 座 預 金	110,413,176	108,896,046	△ 1,517,130
	普 通 預 金	168,066,752	175,519,590	7,452,838
	定 期 預 金	30,000,000	30,000,000	0
合 計		326,941,385	335,208,137	8,266,752

②供給未収金の明細

イ. 内訳

(単位:円)

相 手 先	金 額
校費・私費未収金	59,490,029
電子マネー(クレジットチャージ)	30,492,000
クレジット未収金	3,555,998
電子マネー(コンビニチャージ)	946,000
電子マネー(BankPay)	813,000
大学生協ローン未収金	268,895
その他	308,000
合 計	95,873,922

ロ. 回収状況

(単位:円)

期首残高	当期発生高	当期回収高	期末残高	回収率
67,426,868	542,408,612	550,345,451	59,490,029	90.2%

(注) 校費・私費未収金のみの回収率です。

③商品の明細

(単位:円)

科 目	内 訳	金 額
商 品	一 般 商 品 (物 品)	127,217,330
	書 籍	40,638,847
	食 材	4,466,656
	サ ー ビ ス	12,946,640
合 計		185,269,473

④立替金の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
青山商事DM発送費用	224,060
職員割賦支払い	193,300
その他	18,401
合 計	435,761

⑤前払費用の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
新学期費用	2,256,976
兵庫県生活協同組合連合会3月会費	33,000
その他	22,430
合 計	2,312,406

⑥未収金の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
大学生協事業連合	5,473,360
神戸大学	1,244,803
自動販売機供給	862,091
就職支援関係	410,475
出向職員給与(神戸親和大学生協)	357,400
Sky(工学部食堂100円夕食補填)	250,000
ゆうちょ銀行	49,313
ウェルカムズ(就活サポート費用)	200,000
図書券・図書カード	1,000
合 計	8,848,442

⑦差入保証金の明細

(単位:円)

差 入 先 (内 訳)	金 額
全国旅行業協会(弁済業務保証金分担金)	600,000
兵庫県宅建協会(弁済業務保証金分担金)	900,000
日本交通公社(トリップス端末)	500,000
日本図書普及(図書券)	20,000
日本図書普及(図書カード端末機)	30,000
合 計	2,050,000

(2) 主な負債の内容

①買掛金の明細

(単位:円)

相 手 先	金 額
大学生協事業連合	157,705,031
神戸大学経済経営研究所	1,628,330
マイクロソフト	245,203
Amazon	1,093,395
伊藤ハム	73,267
サンアロー	51,964
その他	29,302,094
合 計	190,099,284

②未払金の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
神戸大学	3,401,778
灘郵便局	1,741,342
定時職員退職金	1,707,750
大阪ガス	817,451
大学生協事業連合	628,634
ナガタ商会	588,544
ピースタイルメディア	413,600
リコージャパン	391,064
アサヒセキュリティ	347,600
佐川急便	302,116
ソフトバンクテレコム	231,203
東海興商	208,835
日生協第2年金基金	201,040
三井住友銀行	198,770
SPC	154,920
ケーオー商会	150,370
エイジス	148,237
USEN	143,880
西日本クリーンエイド	138,600
エスケー石嶺	134,640
藤田商店	103,345
エイトレント	101,926
アセットインベントリー	99,000
ユニマット	93,578
南海電設	92,400
エネオス	91,859
その他	3,355,109
合 計	15,987,591

③未払法人税等の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
県民税	143,000
市民税	880,000
合 計	1,023,000

④未払消費税の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
未払消費税	23,884,900
合 計	23,884,900

⑤未払費用の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
職員給与未払費用(2月)	6,145,000
派遣職員2月給与	827,198
合 計	6,972,198

⑥前受金の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
電子マネー	41,065,814
卒業式レンタル袴申込金	35,890,282
MEAL PASS申込金	21,582,000
組合員商品代金等	16,972,097
新入生歓迎冊子協賛	60,000
合 計	115,570,193

⑦預り金の明細

(単位:円)

内 訳	金 額
未返還組合員出資金	77,360,000
新入生出資金等	13,188,149
組合員 (アルバム申込金)	5,516,800
組合員 (共済掛金)	5,249,600
組合員 (学生 1 1 0 番)	1,829,860
組合員 (下宿敷金家賃等)	730,000
大学生協アプリ未使用電子マネー	182,080
休職中職員社会保険等	139,088
生協利用券未使用分	125,096
その他	149,028
合 計	104,469,701

(3) 比較貸借対照表及び比較損益計算書

① 比較貸借対照表

(2025年2月28日現在)

(単位:円)

資 産 の 部	2023年度	2024年度	負 債 ・ 純 資 産 の 部	2023年度	2024年度
(資 産 の 部)			(負 債 の 部)		
流 動 資 産	659,344,060	626,990,141	流 動 負 債	477,908,733	466,026,524
現 金 預 金	326,941,385	335,208,137	買 掛 金	252,385,169	190,099,284
供 給 未 収 金	95,563,873	95,873,922	未 払 金	12,891,329	16,616,225
商品及び原材料	225,294,599	185,269,473	未 払 法 人 税 等	1,023,000	1,023,000
立 替 金	1,688,358	435,761	未 払 消 費 税 等	9,527,400	23,884,900
前 払 費 用	2,516,410	2,312,406	未 払 費 用	6,774,028	6,972,198
未 収 金	8,313,435	8,848,442	前 受 金	94,584,883	115,570,193
貸 倒 引 当 金	△ 974,000	△ 958,000	預 り 金	93,638,225	104,469,701
			賞 与 引 当 金	6,753,500	6,927,000
固 定 資 産	131,513,540	118,473,577	ポ イ ン ト 引 当 金	331,199	464,023
有 形 固 定 資 産	23,304,085	30,014,617			
建物及び附属設備	59,163,755	59,661,030	固 定 負 債	53,601,698	52,028,499
減価償却累計額	△ 57,072,103	△ 57,392,795	退 職 給 付 引 当 金	48,357,900	46,219,437
	2,091,652	2,268,235	役 員 退 職 給 与 引 当 金	5,243,798	5,809,062
構 築 物	2,935,180	2,935,180			
減価償却累計額	△ 2,875,169	△ 2,904,518	負 債 合 計	531,510,431	518,055,023
	60,011	30,662			
車 両 運 搬 具	15,018,472	13,658,804	(純 資 産 の 部)		
減価償却累計額	△ 14,997,143	△ 12,326,061	組 合 員 資 本	377,758,000	377,148,000
	21,329	1,332,743	出 資 金	377,758,000	377,148,000
器 具 備 品	203,977,979	214,207,960			
減価償却累計額	△ 182,846,886	△ 187,824,983	剰 余 金	△ 118,410,831	△ 149,739,305
	21,131,093	26,382,977	当 期 未 処 分 剰 余 金	△ 118,410,831	△ 149,739,305
無 形 固 定 資 産	4,374,455	4,503,960	(うち当期剰余金)	(1,745,545)	(△ 31,328,474)
ソ フ ト ウ ェ ア	1,387,591	1,517,096			
電 話 加 入 権	2,986,864	2,986,864			
そ の 他 固 定 資 産	103,835,000	83,955,000			
関係団体等出資金	101,785,000	81,905,000			
差 入 保 証 金	2,050,000	2,050,000	純 資 産 合 計	259,347,169	227,408,695
資 産 合 計	790,857,600	745,463,718	負 債 ・ 純 資 産 合 計	790,857,600	745,463,718

② 比 較 損 益 計 算 書

(単位:円)

勘 定 科 目	2023年度実績	2024年度予算	2024年度実績	対前年増減額	対予算差異
供 給 高	2,049,592,136	2,072,412,000	2,044,752,317	△ 4,839,819	△ 27,659,683
供 給 値 引	21,032,401	17,410,000	21,234,314	201,913	3,824,314
純 供 給 高	2,028,559,735	2,055,002,000	2,023,518,003	△ 5,041,732	△ 31,483,997
期 首 商 品 棚 卸 高	149,743,861	0	225,294,599	75,550,738	225,294,599
仕 入 高	1,605,226,472	1,541,638,000	1,452,920,678	△ 152,305,794	△ 88,717,322
期 末 商 品 棚 卸 高	225,294,599	0	185,269,473	△ 40,025,126	185,269,473
供 給 剩 余 金	498,884,001	513,364,000	530,572,199	31,688,198	17,208,199
共 済 受 託 手 数 料 収 入	23,025,148	24,350,000	22,966,334	△ 58,814	△ 1,383,666
教 育 文 化 事 業 収 入	1,019,868	500,000	872,076	△ 147,792	372,076
供 給 事 業 手 数 料 収 入	2,022,682	284,000	660,320	△ 1,362,362	376,320
不 動 産 賃 貸 収 入	0	0	2,011,814	2,011,814	2,011,814
そ の 他 手 数 料 収 入	130,226,068	137,819,000	127,153,481	△ 3,072,587	△ 10,665,519
そ の 他 事 業 収 入 計	156,293,766	162,953,000	153,664,025	△ 2,629,741	△ 9,288,975
事 業 総 剩 余 金	655,177,767	676,317,000	684,236,224	29,058,457	7,919,224
役 員 報 酬	9,068,268	9,528,000	9,386,284	318,016	△ 141,716
職 員 給 与	80,540,349	86,712,000	83,950,639	3,410,290	△ 2,761,361
定 時 職 員 給 与	263,506,428	289,244,000	297,953,851	34,447,423	8,709,851
退 職 給 付 費 用	6,586,945	3,392,000	4,696,454	△ 1,890,491	1,304,454
法 定 福 利 費	37,862,218	39,259,000	42,026,734	4,164,516	2,767,734
厚 生 費	4,716,506	2,462,000	3,423,811	△ 1,292,695	961,811
役員退職給与引当金繰入額	562,396	780,000	565,264	2,868	△ 214,736
賞 与 引 当 金 繰 入 額	6,753,500	5,500,000	6,927,000	173,500	1,427,000
派 遣 人 件 費	2,746,441	3,760,000	4,377,534	1,631,093	617,534
人 件 費 合 計	412,343,051	440,637,000	453,307,571	40,964,520	12,670,571
教 育 文 化 費	1,820,663	1,547,000	1,780,368	△ 40,295	233,368
広 報 費	7,593,510	8,201,000	8,574,177	980,667	373,177
消 耗 品 費	47,509,810	28,247,000	35,710,795	△ 11,799,015	7,463,795
物 流 費	1,400	1,800,000	1,850,880	1,849,480	50,880
車 両 運 搬 費	9,739,225	10,125,000	10,890,471	1,151,246	765,471
貸 倒 引 当 金 繰 入	0	74,000	0	0	△ 74,000
ポ イ ン ト 引 当 金 繰 入	253,517	78,000	132,824	△ 120,693	54,824
施 設 維 持 管 理 費	22,887,927	17,840,000	20,664,279	△ 2,223,648	2,824,279
減 価 償 却 費	9,997,860	7,517,000	8,829,606	△ 1,168,254	1,312,606
賃 借 料	3,310,862	3,404,000	2,493,104	△ 817,758	△ 910,896
水 道 光 熱 費	40,814,450	41,795,000	39,021,190	△ 1,793,260	△ 2,773,810
保 険 料	1,399,470	1,653,000	1,724,000	324,530	71,000
委 託 料	47,261,296	59,501,000	55,571,852	8,310,556	△ 3,929,148
研 修 採 用 費	4,022,463	5,299,000	5,019,463	997,000	△ 279,537
調 査 研 究 費	121,003	603,000	395,028	274,025	△ 207,972
会 議 費	545,140	633,000	740,296	195,156	107,296
諸 会 費	6,858,451	6,650,000	7,442,771	584,320	792,771
渉 外 費	185,022	210,000	204,296	19,274	△ 5,704
租 税 公 課	509,400	494,000	510,900	1,500	16,900
通 信 交 通 費	9,924,073	9,558,000	11,184,875	1,260,802	1,626,875
雑 費	15,363,683	17,520,000	14,938,199	△ 425,484	△ 2,581,801
事 業 連 合 委 託 費	52,836,000	56,940,000	56,726,000	3,890,000	△ 214,000
物 件 費 合 計	282,955,225	279,689,000	284,405,374	1,450,149	4,716,374
事 業 経 費 合 計	695,298,276	720,326,000	737,712,945	42,414,669	17,386,945
事 業 剩 余 金	△ 40,120,509	△ 44,009,000	△ 53,476,721	△ 13,356,212	△ 9,467,721
受 取 利 息	4,186	5,000	207,425	203,239	202,425
受 取 配 当 金	13,000	10,000	25,000	12,000	15,000
雑 収 入	37,336,989	7,484,000	12,721,029	△ 24,615,960	5,237,029
出 資 金 整 理 益	9,320,000	10,000,000	10,265,000	945,000	265,000
事 業 外 収 益	46,674,175	17,499,000	23,218,454	△ 23,455,721	5,719,454
支 払 利 息	7,003	0	0	△ 7,003	0
雑 損 失	3,476,764	590,000	1,340,274	△ 2,136,490	750,274
事 業 外 費 用	3,483,767	590,000	1,340,274	△ 2,143,493	750,274
経 常 剩 余 金	3,069,899	△ 27,100,000	△ 31,598,541	△ 34,668,440	△ 4,498,541
特 別 利 益 計	32,772	0	1,500,000	1,467,228	1,500,000
特 別 損 失 計	330,831	0	170,062	△ 160,769	170,062
税 引 前 当 期 剩 余 金	2,771,840	△ 27,100,000	△ 30,268,603	△ 33,040,443	△ 3,168,603
法 人 税 等	1,026,295		1,059,871	33,576	1,059,871
当 期 剩 余 金	1,745,545		△ 31,328,474	△ 33,074,019	△ 31,328,474
当 期 首 繰 越 剩 余 金	△ 120,156,376		△ 118,410,831	1,745,545	△ 118,410,831
当 期 末 処 分 剩 余 金	△ 118,410,831		△ 149,739,305	△ 31,328,474	△ 149,739,305

参考資料

店舗別損益対比表

2024年3月1日～2025年2月28日

《単位：千円》

		供給高			供給剰余			事業総剰余			人件費			
		本年実績	前年差	予算差	本年実績	前年差	予算差	本年実績	前年差	予算差	本年実績	前年差	予算差	
ショッピング事業部	鶴1	285,248	▲34,439	▲42,866	37,608	▲5,452	▲4,910	39,692	▲5,601	▲4,763	25,404	▲265	▲2,027	
	医学部	185,274	10,786	836	18,336	▲2,286	▲2,361	23,787	▲1,953	▲2,497	17,857	▲567	750	
	保健学科	19,509	▲2,135	▲3,927	3,611	▲715	▲1,079	3,640	▲692	▲1,055	2,522	▲41	25	
	BELBOX	160,239	8,798	▲66,837	29,670	168	▲16,065	33,680	▲1,244	▲15,103	29,533	895	2,984	
	鶴2	15,009	▲96	▲164	3,166	▲121	▲214	3,214	▲103	▲196	2,264	68	▲232	
	キャリア	3,094	▲3,795	▲8,254	1,445	▲2,000	▲4,228	15,970	477	▲5,483	12,482	1,441	279	
	深江	35,972	3,112	5,146	5,772	1,116	824	5,859	1,156	879	3,235	558	131	
	サビセンター	406,307	▲45,896	▲3,477	37,750	▲1,227	4,071	83,476	▲2,905	1,847	30,066	4,876	▲543	
	LANSBOX	55,189	2,006	▲1,272	12,141	921	674	12,283	927	685	10,662	82	▲244	
	学生会館	60,395	▲9,914	60,391	13,955	▲2,738	13,955	13,955	▲2,743	13,955	0	0	0	
	うびス	11,464	▲555	▲565	2,105	277	▲243	2,105	277	▲243	2,305	372	487	
	店舗支援課	0	▲56	0	▲16	▲26	▲16	2,496	▲271	246	17,505	▲2,895	888	
キャンパスPC	183,765	▲3,169	▲11,804	24,480	▲4,002	▲3,354	48,553	▲5,627	▲6,640	10,899	1,680	1,573		
ショッピング事業部計		1,421,464	▲75,353	▲72,793	190,023	▲16,084	▲12,946	288,710	▲18,302	▲18,368	164,736	6,204	4,068	
総務	総務部	▲17,679	0	0	▲17,682	▲901	▲4,182	37,241	1,632	▲8,103	65,001	▲1,056	1,936	
	事業支援課	0	0	0	0	0	0	0	▲2,768	0	0	0	0	
総務部計		▲17,679	0	0	▲17,682	▲901	▲4,182	37,241	▲1,136	▲8,103	65,001	▲1,056	1,936	
フードサービス事業部	鶴1	90,491	8,546	2,288	59,210	7,000	3,486	59,213	6,991	3,489	34,398	5,158	939	
	BELBOX	65,929	22,807	11,544	38,971	13,758	7,279	38,971	13,748	7,279	25,714	11,854	2,581	
	さくら	49,168	4,118	22,354	35,208	5,932	17,462	35,208	5,932	17,462	14,183	1,231	3,015	
	工学部	193,288	10,199	▲524	102,943	7,217	156	102,951	7,217	164	55,233	9,477	132	
	LANSBOX	85,795	7,077	1,532	46,155	4,407	715	46,158	4,396	718	25,326	3,551	▲637	
	滝川会館	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	鶴2	17,907	1,854	995	9,441	1,121	379	9,441	1,122	379	6,528	589	▲267	
	医学部	84,763	14,116	5,737	47,720	8,219	3,896	47,723	8,222	3,899	25,356	2,541	▲327	
	保健学科	12,332	1,762	1,450	7,581	1,014	925	7,581	1,014	925	6,136	878	337	
	深江	20,059	34	▲243	10,994	1	30	10,996	3	32	7,221	1,033	261	
	食堂事務所	0	0	0	0	0	0	35	▲152	35	23,477	▲497	634	
フードサービス事業部計		619,733	70,513	45,134	358,231	48,673	34,336	358,286	48,496	34,391	223,571	35,816	6,667	
総合計		2,023,518	▲4,840	▲27,660	530,572	31,688	17,208	684,236	29,058	7,919	453,308	40,965	12,671	
		物件費			内事業連合 委託費		事業剰余			事業外 損益	経常剰余			当期 剰余金
		本年実績	前年差	予算差			本年実績	前年差	予算差		本年実績	前年差	予算差	
ショッピング事業部	鶴1	4,873	▲354	▲853	0	9,414	▲4,982	▲1,884	2	9,416	▲4,984	▲1,882	9,416	
	医学部	2,789	▲4,077	▲146	0	3,141	2,690	▲3,101	0	3,141	3,636	▲3,101	3,141	
	保健学科	563	▲120	▲99	0	555	▲531	▲981	0	555	▲531	▲981	555	
	BELBOX	6,270	▲28	266	0	▲2,123	▲2,112	▲18,353	25	▲2,099	▲2,128	▲18,329	▲2,099	
	鶴2	1,549	▲82	▲31	0	▲599	▲89	67	0	▲599	▲89	67	▲599	
	キャリア	7,359	1,462	1,229	0	▲3,871	▲2,426	▲6,991	1,976	▲1,895	▲2,265	▲5,565	▲1,895	
	深江	1,414	▲273	▲38	0	1,210	871	786	9	1,219	878	795	1,219	
	サビセンター	12,114	275	397	0	41,295	▲8,055	1,992	1,309	42,604	▲8,342	2,269	42,604	
	LANSBOX	1,961	▲630	▲237	0	▲341	1,475	1,170	1	▲340	1,454	1,171	▲340	
	学生会館	526	▲283	526	0	13,429	▲2,460	13,429	0	13,429	▲2,460	13,429	13,429	
	うびス	593	261	81	0	▲793	▲356	▲811	1	▲792	▲355	▲810	▲792	
	店舗支援課	7,331	4,520	4,540	0	▲22,340	▲1,896	▲5,182	549	▲21,792	▲1,348	▲4,634	▲21,792	
キャンパスPC	4,497	654	▲41	0	33,157	▲7,960	▲8,172	0	33,157	▲7,853	▲8,172	33,157		
ショッピング事業部計		51,840	1,325	5,595	0	72,134	▲25,831	▲28,031	3,871	76,005	▲24,387	▲25,742	76,005	
総務	総務部	148,777	28,149	▲5,745	56,726	▲176,537	▲25,461	▲4,294	12,576	▲163,961	▲49,084	▲2,045	▲163,521	
	事業支援課	0	▲13,948	0	0	0	11,180	0	0	0	11,180	0	0	
総務部計		148,777	14,201	▲5,745	56,726	▲176,537	▲14,281	▲4,294	12,576	▲163,961	▲37,904	▲2,045	▲163,521	
フードサービス事業部	鶴1	15,104	103	564	0	9,711	1,730	1,986	1	9,712	1,792	1,987	9,565	
	BELBOX	9,732	1,343	1,224	0	3,525	550	3,474	20	3,545	567	3,494	3,545	
	さくら	4,953	▲607	▲162	0	16,073	5,307	14,610	0	16,073	5,307	14,610	16,073	
	工学部	14,951	499	1,427	0	32,767	▲2,759	▲1,395	▲4	32,762	▲2,765	▲1,400	32,762	
	LANSBOX	12,582	▲605	1,967	0	8,250	1,450	▲612	1	8,251	1,452	▲611	8,228	
	滝川会館	0	▲804	0	0	0	804	0	0	0	1,379	0	0	
	鶴2	4,088	▲844	▲333	0	▲1,174	1,377	980	1	▲1,173	1,378	981	▲1,173	
	医学部	8,793	▲12,583	▲215	0	13,574	18,264	4,441	▲3	13,572	18,256	4,439	13,572	
	保健学科	2,767	▲10	▲54	0	▲1,322	146	642	0	▲1,322	147	642	▲1,322	
	深江	3,661	56	▲438	0	114	▲1,086	209	0	114	▲1,085	209	114	
	食堂事務所	7,158	▲623	887	0	▲30,600	968	▲1,486	5,415	▲25,185	1,191	▲1,071	▲25,185	
フードサービス事業部計		83,788	▲14,076	4,866	0	50,926	26,756	22,857	5,431	56,358	27,622	23,289	56,188	
総合計		284,405	1,450	4,716	56,726	▲53,477	▲13,356	▲9,468	21,878	▲31,599	▲34,668	▲4,499	▲31,328	

神戸大学生協 損益比較表

		(単位:円)							
勘定科目	2023年度実績	2024年度予算	2024年度実績	対前年増減額	対前年増減率	対予算差異	対予算差異率		
供給高	2,049,592,136	2,072,412,000	2,044,752,317	▲4,839,819	▲0.2	▲27,659,683	▲1.3		
供給値引	21,032,401	17,410,000	21,234,314	201,913	0.9	3,824,314	21.9		
純供給高	2,028,559,735	2,055,002,000	2,023,518,003	▲5,041,732	▲0.2	▲31,483,997	▲1.5		
期首商品棚卸高	149,743,861	0	225,294,599	75,550,738	50.4	225,294,599			
仕入高	1,605,226,472	1,541,638,000	1,452,920,678	▲152,305,794	▲9.4	▲88,717,322	▲5.7		
期末商品棚卸高	225,294,599	0	185,269,473	▲40,025,126	▲17.7	185,269,473			
供給剰余金	498,884,001	513,364,000	530,572,199	31,688,198	6.3	17,208,199	3.3		
共済受託手数料収入	23,025,148	24,350,000	22,966,334	▲58,814	▲0.2	▲1,383,666	▲5.6		
教育文化事業収入	1,019,868	500,000	872,076	▲147,792	▲14.4	372,076	74.4		
供給事業手数料収入	2,022,682	284,000	660,320	▲1,362,362	▲67.3	376,320	132.5		
不動産賃貸収入		0	2,011,814	2,011,814		2,011,814			
その他手数料収入	130,226,068	137,819,000	127,153,481	▲3,072,587	▲2.3	▲10,665,519	▲7.7		
その他事業収入計	156,293,766	162,953,000	153,664,025	▲2,629,741	▲1.6	▲9,288,975	▲5.7		
事業総剰余金	655,177,767	676,317,000	684,236,224	29,058,457	4.4	7,919,224	1.1		
役員報酬	9,068,268	9,528,000	9,386,284	318,016	3.5	▲141,716	▲1.4		
職員給与	80,540,349	86,712,000	83,950,639	3,410,290	4.2	▲2,761,361	▲3.1		
定時職員給与	263,506,428	289,244,000	297,953,851	34,447,423	13.0	8,709,851	3.0		
退職給付費用	6,586,945	3,392,000	4,696,454	▲1,890,491	▲28.7	1,304,454	38.4		
法定福利費	37,862,218	39,259,000	42,026,734	4,164,516	10.9	2,767,734	7.0		
厚生費	4,716,506	2,462,000	3,423,811	▲1,292,695	▲27.4	961,811	39.0		
役員退職給与引当金繰入額	562,396	780,000	565,264	2,868	0.5	▲214,736	▲27.5		
賞与引当金繰入額	6,753,500	5,500,000	6,927,000	173,500	2.5	1,427,000	25.9		
派遣人件費	2,746,441	3,760,000	4,377,534	1,631,093	59.3	617,534	16.4		
人件費合計	412,343,051	440,637,000	453,307,571	40,964,520	9.9	12,670,571	2.8		
教育文化費	1,820,663	1,547,000	1,780,368	▲40,295	▲2.2	233,368	15.0		
広報費	7,593,510	8,201,000	8,574,177	980,667	12.9	373,177	4.5		
消耗品費	47,509,810	28,247,000	35,710,795	▲11,799,015	▲24.8	7,463,795	26.4		
物流費	1,400	1,800,000	1,850,880	1,849,480	132,105.7	50,880	2.8		
車両運搬費	9,739,225	10,125,000	10,890,471	1,151,246	11.8	765,471	7.5		
貸倒引当金繰入	0	74,000	0	0		▲74,000	▲100.0		
ポイント引当金繰入	253,517	78,000	132,824	▲120,693	▲47.6	54,824	70.2		
施設維持管理費	22,887,927	17,840,000	20,664,279	▲2,223,648	▲9.7	2,824,279	15.8		
減価償却費	9,997,860	7,517,000	8,829,606	▲1,168,254	▲11.6	1,312,606	17.4		
賃借料	3,310,862	3,404,000	2,493,104	▲817,758	▲24.6	▲910,896	▲26.7		
水道光熱費	40,814,450	41,795,000	39,021,190	▲1,793,260	▲4.3	▲2,773,810	▲6.6		
保険料	1,399,470	1,653,000	1,724,000	324,530	23.1	71,000	4.2		
委託料	47,261,296	59,501,000	55,571,852	8,310,556	17.5	▲3,929,148	▲6.6		
研修採用費	4,022,463	5,299,000	5,019,463	997,000	24.7	▲279,537	▲5.2		
調査研究費	121,003	603,000	395,028	274,025	226.4	▲207,972	▲34.4		
会議費	545,140	633,000	740,296	195,156	35.7	107,296	16.9		
諸会費	6,858,451	6,650,000	7,442,771	584,320	8.5	792,771	11.9		
渉外費	185,022	210,000	204,296	19,274	10.4	▲5,704	▲2.7		
租税公課	509,400	494,000	510,900	1,500	0.2	16,900	3.4		
通信交通費	9,924,073	9,558,000	11,184,875	1,260,802	12.7	1,626,875	17.0		
雑費	15,363,683	17,520,000	14,938,199	▲425,484	▲2.7	▲2,581,801	▲14.7		
事業連合委託費	52,836,000	56,940,000	56,726,000	3,890,000	7.3	▲214,000	▲0.3		
物件費合計	282,955,225	279,689,000	284,405,374	1,450,149	0.5	4,716,374	1.6		
事業経費合計	695,298,276	720,326,000	737,712,945	42,414,669	6.1	17,386,945	2.4		
事業剰余金	▲40,120,509	▲44,009,000	▲53,476,721	▲13,356,212	▲33.2	▲9,467,721	▲21.5		
受取利息	4,186	5,000	207,425	203,239	4,855.2	202,425	4,048.5		
受取配当金	13,000	10,000	25,000	12,000	92.3	15,000	150.0		
雑収入	37,336,989	7,484,000	12,721,029	▲24,615,960	▲65.9	5,237,029	69.9		
出資金整理益	9,320,000	10,000,000	10,265,000	945,000	10.1	265,000	2.6		
事業外収益	46,674,175	17,499,000	23,218,454	▲23,455,721	▲50.2	5,719,454	32.6		
支払利息	7,003	0	0	▲7,003	▲100.0	0			
雑損失	3,476,764	590,000	1,340,274	▲2,136,490	▲61.4	750,274	127.1		
事業外費用	3,483,767	590,000	1,340,274	▲2,143,493	▲61.5	750,274	127.1		
経常剰余金	3,069,899	▲27,100,000	▲31,598,541	▲34,668,440	▲1,129.3	▲4,498,541	▲16.5		
特別利益計	32,772	0	1,500,000	1,500,000		1,500,000			
特別損失計	330,831	0	170,062	▲160,769	▲48.5	170,062			
税引前当期剰余金	2,771,840	▲27,100,000	▲306,268,603	▲33,040,443	▲1,192.0	▲3,168,603	▲11.6		
法人税等	1,026,295		1,059,871	33,576	3.2	1,059,871			
当期剰余金	1,745,545	▲27,100,000	▲31,328,474	▲33,074,019	▲1,894.7	▲4,228,474	▲15.6		
当期首繰越剰余金	▲120,156,376		▲118,410,831	1,745,545	1.4	▲118,410,831			
当期末処分剰余金	▲118,410,831	▲27,100,000	▲149,739,305	▲31,328,474	▲26.4	▲122,639,305	▲452.5		

事業部門別 損益比較表

【ショッピング事業部】

(単位:円)

勘定科目	2023年度実績	2024年度予算	2024年度実績	対前年増減額	対前年増減率	対予算差異	対予算差異率
供給高	1,500,372,506	1,497,813,000	1,425,019,624	▲75,352,882	▲5.0	▲72,793,376	▲4.8
供給値引	4,254,520	3,910,000	3,555,307	▲699,213	▲16.4	▲354,693	▲9.0
純供給高	1,496,117,986	1,493,903,000	1,421,464,317	▲74,653,669	▲4.9	▲72,438,683	▲4.8
期首商品棚卸高	145,611,248	0	221,315,468	75,704,220	51.9	221,315,468	
仕入高	1,365,714,724	1,290,934,000	1,190,925,090	▲174,789,634	▲12.7	▲100,008,910	▲7.7
期末商品棚卸高	221,315,468	0	180,799,339	▲40,516,129	▲18.3	180,799,339	
供給剰余金	206,107,482	202,969,000	190,023,098	▲16,084,384	▲7.8	▲12,945,902	▲6.3
共済受託手数料収入	0	0	0	0		0	
教育文化事業収入	0	0	0	0		0	
供給事業手数料収入	804,649	40,000	208,490	▲596,159	▲74.0	168,490	421.2
不動産賃貸収入		0	2,011,814	2,011,814		2,011,814	
その他手数料収入	100,099,387	104,069,000	96,466,119	▲3,633,268	▲3.6	▲7,602,881	▲7.3
その他事業収入計	100,904,036	104,109,000	98,686,423	▲2,217,613	▲2.1	▲5,422,577	▲5.2
事業総剰余金	307,011,518	307,078,000	288,709,521	▲18,301,997	▲5.9	▲18,368,479	▲5.9
役員報酬	0	0	0	0		0	
職員給与	54,559,575	55,121,000	54,569,272	9,697	0.0	▲551,728	▲1.0
定時職員給与	82,076,069	83,784,000	87,175,670	5,099,601	6.2	3,391,670	4.0
退職給付費用	0	0	0	0		0	
法定福利費	17,941,300	17,369,000	17,817,470	▲123,830	▲0.6	448,470	2.5
厚生費	1,208,549	634,000	795,591	▲412,958	▲34.1	161,591	25.4
役員退職給与引当金繰入額	0	0	0	0		0	
賞与引当金繰入額	0	0	0	0		0	
派遣人件費	2,746,441	3,760,000	4,377,534	1,631,093	59.3	617,534	16.4
人件費合計	158,531,934	160,668,000	164,735,537	6,203,603	3.9	4,067,537	2.5
教育文化費	0	0	0	0		0	
広報費	4,701,569	4,731,000	5,306,226	604,657	12.8	575,226	12.1
消耗品費	10,358,829	7,109,000	7,918,932	▲2,439,897	▲23.5	809,932	11.3
物流費	1,400	0	64,130	62,730	4,480.7	64,130	
車両運搬費	6,959,231	8,393,000	8,523,550	1,564,319	22.4	130,550	1.5
貸倒引当金繰入	0	0	0	0		0	
ポイント引当金繰入	0	0	0	0		0	
施設維持管理費	2,990,090	3,131,000	2,949,308	▲40,782	▲1.3	▲181,692	▲5.8
減価償却費	2,980,809	1,992,000	2,977,024	▲3,785	▲0.1	985,024	49.4
賃借料	1,842,873	1,584,000	1,396,024	▲446,849	▲24.2	▲187,976	▲11.8
水道光熱費	6,390,158	6,446,000	5,535,953	▲854,205	▲13.3	▲910,047	▲14.1
保険料	▲580	0	0	580	100.0	0	
委託料	7,467,491	7,874,000	9,678,180	2,210,689	29.6	1,804,180	22.9
研修採用費	460,520	379,000	815,661	355,141	77.1	436,661	115.2
調査研究費	80,593	25,000	56,034	▲24,559	▲30.4	31,034	124.1
会議費	144,642	95,000	336,732	192,090	132.8	241,732	254.4
諸会費	309,316	307,000	316,918	7,602	2.4	9,918	3.2
渉外費	1,964	0	30,430	28,466	1,449.3	30,430	
租税公課	12,800	2,000	14,800	2,000	15.6	12,800	640.0
通信交通費	4,924,753	3,277,000	5,028,558	103,805	2.1	1,751,558	53.4
雑費	888,637	900,000	891,676	3,039	0.3	▲8,324	▲0.9
事業連合委託費	0	0	0	0		0	
物件費合計	50,515,095	46,245,000	51,840,136	1,325,041	2.6	5,595,136	12.0
事業経費合計	209,047,029	206,913,000	216,575,673	7,528,644	3.6	9,662,673	4.6
事業剰余金	97,964,489	100,165,000	72,133,848	▲25,830,641	▲26.3	▲28,031,152	▲27.9
受取利息	0	0	0	0		0	
受取配当金	0	0	0	0		0	
雑収入	3,773,016	1,582,000	3,919,559	146,543	3.8	2,337,559	147.7
出資金整理益	0	0	0	0		0	
事業外収益	3,773,016	1,582,000	3,919,559	146,543	3.8	2,337,559	147.7
支払利息	0	0	0	0		0	
雑損失	1,345,819	0	48,417	▲1,297,402	▲96.4	48,417	
事業外費用	1,345,819	0	48,417	▲1,297,402	▲96.4	48,417	
経常剰余金	100,391,686	101,747,000	76,004,990	▲24,386,696	▲24.2	▲25,742,010	▲25.3
特別利益計	0	0	0	0		0	
特別損失計	6,840	0	3	▲6,837	▲99.9	3	
税引前当期剰余金	100,384,846	101,747,000	76,004,987	▲24,379,859	▲24.2	▲25,742,013	▲25.3

【フードサービス事業部】

(単位:円)

勘定科目	2023年度実績	2024年度予算	2024年度実績	対前年増減額	対前年増減率	対予算差異	対予算差異率
供給高	549,219,630	574,599,000	619,732,693	70,513,063	12.8	45,133,693	7.8
供給値引	0	0	0	0		0	
純供給高	549,219,630	574,599,000	619,732,693	70,513,063	12.8	45,133,693	7.8
期首商品棚卸高	4,132,613	0	3,979,131	▲153,482	▲3.7	3,979,131	
仕入高	239,508,258	250,704,000	261,992,703	22,484,445	9.3	11,288,703	4.5
期末商品棚卸高	3,979,131	0	4,470,134	491,003	12.3	4,470,134	
供給剰余金	309,557,890	323,895,000	358,230,993	48,673,103	15.7	34,335,993	10.6
共済受託手数料収入	0	0	0	0		0	
教育文化事業収入	0	0	0	0		0	
供給事業手数料収入	0	0	0	0		0	
不動産賃貸収入	0	0	0	0		0	
その他手数料収入	231,324	0	54,553	▲176,771	▲76.4	54,553	
その他事業収入計	231,324	0	54,553	▲176,771	▲76.4	54,553	
事業総剰余金	309,789,214	323,895,000	358,285,546	48,496,332	15.6	34,390,546	10.6
役員報酬	0	0	0	0		0	
職員給与	22,079,052	27,711,000	27,531,803	5,452,751	24.6	▲179,197	▲0.6
定時職員給与	151,859,602	174,260,000	178,399,912	26,540,310	17.4	4,139,912	2.3
退職給付費用	0	0	0	0		0	
法定福利費	11,419,480	13,694,000	15,384,384	3,964,904	34.7	1,690,384	12.3
厚生費	2,396,737	1,239,000	2,255,197	▲141,540	▲5.9	1,016,197	82.0
役員退職給与引当金繰入額	0	0	0	0		0	
賞与引当金繰入額	0	0	0	0		0	
派遣人件費	0	0	0	0		0	
人件費合計	187,754,871	216,904,000	223,571,296	35,816,425	19.0	6,667,296	3.0
教育文化費	0	0	0	0		0	
広報費	249,100	268,000	434,770	185,670	74.5	166,770	62.2
消耗品費	31,874,942	17,245,000	21,529,937	▲10,345,005	▲32.4	4,284,937	24.8
物流費	0	0	0	0		0	
車両運搬費	1,334,402	851,000	1,227,135	▲107,267	▲8.0	376,135	44.1
貸倒引当金繰入	0	0	0	0		0	
ポイント引当金繰入	0	0	0	0		0	
施設維持管理費	17,653,247	12,813,000	15,292,527	▲2,360,720	▲13.3	2,479,527	19.3
減価償却費	6,431,704	5,261,000	5,547,015	▲884,689	▲13.7	286,015	5.4
賃借料	50,523	33,000	72,600	22,077	43.6	39,600	120.0
水道光熱費	33,370,501	34,091,000	32,538,966	▲831,535	▲2.4	▲1,552,034	▲4.5
保険料	0	0	0	0		0	
委託料	3,681,401	4,308,000	4,141,439	460,038	12.4	▲166,561	▲3.8
研修採用費	2,269,170	3,000,000	1,986,153	▲283,017	▲12.4	▲1,013,847	▲33.7
調査研究費	5,490	0	140,108	134,618	2,452.0	140,108	
会議費	85,946	218,000	140,417	54,471	63.3	▲77,583	▲35.5
諸会費	0	0	3,822	3,822		3,822	
渉外費	0	0	9,819	9,819		9,819	
租税公課	4,400	0	18,600	14,200	322.7	18,600	
通信交通費	853,104	834,000	697,870	▲155,234	▲18.1	▲136,130	▲16.3
雑費	0	0	6,800	6,800		6,800	
事業連合委託費	0	0	0	0		0	
物件費合計	97,863,930	78,922,000	83,787,978	▲14,075,952	▲14.3	4,865,978	6.1
事業経費合計	285,618,801	295,826,000	307,359,274	21,740,473	7.6	11,533,274	3.8
事業剰余金	24,170,413	28,069,000	50,926,272	26,755,859	110.6	22,857,272	81.4
受取利息	0	0	0	0		0	
受取配当金	0	0	0	0		0	
雑収入	5,446,752	5,000,000	5,447,849	1,097	0.0	447,849	8.9
出資金整理益	0	0	0	0		0	
事業外収益	5,446,752	5,000,000	5,447,849	1,097	0.0	447,849	8.9
支払利息	0	0	0	0		0	
雑損	882,028	0	16,535	▲865,493	▲98.1	16,535	
事業外費用	882,028	0	16,535	▲865,493	▲98.1	16,535	
経常剰余金	28,735,137	33,069,000	56,357,586	27,622,449	96.1	23,288,586	70.4
特別利益計	0	0	0	0		0	
特別損失計	323,991	0	170,059	▲153,932	▲47.5	170,059	
税引前当期剰余金	28,411,146	33,069,000	56,187,527	27,776,381	97.7	23,118,527	69.9

【総務部】

(単位:円)

勘定科目	2023年度実績	2024年度予算	2024年度実績	対前年増減額	対前年増減率	対予算差異	対予算差異率
供給高	0	0	0	0		0	
供給値引	16,777,881	13,500,000	17,679,007	901,126	5.3	4,179,007	30.9
純供給高	▲16,777,881	▲13,500,000	▲17,679,007	▲901,126	▲5.3	▲4,179,007	▲30.9
期首商品棚卸高	0	0	0	0		0	
仕入高	3,490	0	2,885	▲605	▲17.3	2,885	
期末商品棚卸高	0	0	0	0		0	
供給剰余金	▲16,781,371	▲13,500,000	▲17,681,892	▲900,521	▲5.3	▲4,181,892	▲30.9
共済受託手数料収入	23,025,148	24,350,000	22,966,334	▲58,814	▲0.2	▲1,383,666	▲5.6
教育文化事業収入	1,019,868	500,000	872,076	▲147,792	▲14.4	372,076	74.4
供給事業手数料収入	1,218,033	244,000	451,830	▲766,203	▲62.9	207,830	85.1
不動産賃貸収入		0	0	0		0	
その他手数料収入	29,895,357	33,750,000	30,632,809	737,452	2.4	▲3,117,191	▲9.2
その他事業収入計	55,158,406	58,844,000	54,923,049	▲235,357	▲0.4	▲3,920,951	▲6.6
事業総剰余金	38,377,035	45,344,000	37,241,157	▲1,135,878	▲2.9	▲8,102,843	▲17.8
役員報酬	9,068,268	9,528,000	9,386,284	318,016	3.5	▲141,716	▲1.4
職員給与	3,901,722	3,880,000	1,849,564	▲2,052,158	▲52.5	▲2,030,436	▲52.3
定時職員給与	29,570,757	31,200,000	32,378,269	2,807,512	9.4	1,178,269	3.7
退職給付費用	6,586,945	3,392,000	4,696,454	▲1,890,491	▲28.7	1,304,454	38.4
法定福利費	8,501,438	8,196,000	8,824,880	323,442	3.8	628,880	7.6
厚生費	1,111,220	589,000	373,023	▲738,197	▲66.4	▲215,977	▲36.6
役員退職給与引当金繰入額	562,396	780,000	565,264	2,868	0.5	▲214,736	▲27.5
賞与引当金繰入額	6,753,500	5,500,000	6,927,000	173,500	2.5	1,427,000	25.9
派遣人件費	0	0	0	0		0	
人件費合計	66,056,246	63,065,000	65,000,738	▲1,055,508	▲1.5	1,935,738	3.0
教育文化費	1,820,663	1,547,000	1,780,368	▲40,295	▲2.2	233,368	15.0
広報費	2,642,841	3,202,000	2,833,181	190,340	7.2	▲368,819	▲11.5
消耗品費	5,276,039	3,893,000	6,261,926	985,887	18.6	2,368,926	60.8
物流費	0	1,800,000	1,786,750	1,786,750		▲13,250	▲0.7
車両運搬費	1,445,592	881,000	1,139,786	▲305,806	▲21.1	258,786	29.3
貸倒引当金繰入	0	74,000	0	0		▲74,000	▲100.0
ポイント引当金繰入	253,517	78,000	132,824	▲120,693	▲47.6	54,824	70.2
施設維持管理費	2,244,590	1,896,000	2,422,444	177,854	7.9	526,444	27.7
減価償却費	585,347	264,000	305,567	▲279,780	▲47.7	41,567	15.7
賃借料	1,417,466	1,787,000	1,024,480	▲392,986	▲27.7	▲762,520	▲42.6
水道光熱費	1,053,791	1,258,000	946,271	▲107,520	▲10.2	▲311,729	▲24.7
保険料	1,400,050	1,653,000	1,724,000	323,950	23.1	71,000	4.2
委託料	36,112,404	47,319,000	41,752,233	5,639,829	15.6	▲5,566,767	▲11.7
研修採用費	1,292,773	1,920,000	2,217,649	924,876	71.5	297,649	15.5
調査研究費	34,920	578,000	198,886	163,966	469.5	▲379,114	▲65.5
会議費	314,552	320,000	263,147	▲51,405	▲16.3	▲56,853	▲17.7
諸会費	6,549,135	6,343,000	7,122,031	572,896	8.7	779,031	12.2
渉外費	183,058	210,000	164,047	▲19,011	▲10.3	▲45,953	▲21.8
租税公課	492,200	492,000	477,500	▲14,700	▲2.9	▲14,500	▲2.9
通信交通費	4,146,216	5,447,000	5,458,447	1,312,231	31.6	11,447	0.2
雑費	14,475,046	16,620,000	14,039,723	▲435,323	▲3.0	▲2,580,277	▲15.5
事業連合委託費	52,836,000	56,940,000	56,726,000	3,890,000	7.3	▲214,000	▲0.3
物件費合計	134,576,200	154,522,000	148,777,260	14,201,060	10.5	▲5,744,740	▲3.7
事業経費合計	200,632,446	217,587,000	213,777,998	13,145,552	6.5	▲3,809,002	▲1.7
事業剰余金	▲162,255,411	▲172,243,000	▲176,536,841	▲14,281,430	▲8.8	▲4,293,841	▲2.4
受取利息	4,186	5,000	207,425	203,239	4,855.2	202,425	4,048.5
受取配当金	13,000	10,000	25,000	12,000	92.3	15,000	150.0
雑収入	28,117,221	902,000	3,353,621	▲24,763,600	▲88.0	2,451,621	271.7
出資金整理益	9,320,000	10,000,000	10,265,000	945,000	10.1	265,000	2.6
事業外収益	37,454,407	10,917,000	13,851,046	▲23,603,361	▲63.0	2,934,046	26.8
支払利息	7,003	0	0	▲7,003	▲100.0	0	
雑損失	1,248,917	590,000	1,275,322	26,405	2.1	685,322	116.1
事業外費用	1,255,920	590,000	1,275,322	19,402	1.5	685,322	116.1
経常剰余金	▲126,056,924	▲161,916,000	▲163,961,117	▲37,904,193	▲30.0	▲2,045,117	▲1.2
特別利益計	32,772	0	1,500,000	1,467,228	4,477.0	1,500,000	
特別損失計	0	0	0	0		0	
税引前当期剰余金	▲126,024,152	▲161,916,000	▲162,461,117	▲36,436,965	▲28.9	▲545,117	▲0.3

沿 革

年 月	内 容
1957 年 6 月	設立総会
7 月	県知事認可
12 月	設立登記
1958 年 5 月	姫路支部発足
1958 年 9 月	六甲支部焼失
10 月	書籍部御影に開設
1960 年 12 月	六甲支部再建
1962 年 11 月	工学支部発足
1963 年 4 月	教養部鶴甲に移転
1994 年 9 月	教養部本食堂完成文理学部食堂完成 学舎統合により御影支部 学舎統合により姫路支部廃止
10 月	学生会館に書籍部統合移転
1966 年 9 月	農学部支部開設
1967 年 10 月	医学部支部開設
1969 年 12 月	工学部にカフェテリア食堂開設
1973 年 4 月	医学部食堂改装
1976 年 9 月	六甲支部二階化(一階食堂、二階喫茶・購買書籍)
1977 年 2 月	農学部食堂拡張
1979 年 3 月	文理学部食堂廃止
8 月	教養部食堂拡張
1980 年 4 月	教育学部購買部拡張
1982 年 10 月	工学部喫茶(エコー)開設 兵庫県知事登録国内旅行業登録
1984 年 2 月	運輸大臣登録一般旅行業代理店登録
3 月	医療技術短期大学部施設開設
4 月	医学部書籍・購買部が国内旅行業営業所として登録
1985 年 1 月	LANS BOX(文・理・農・自然科学研究科施設)開設
4 月	CAFELIA(教養部喫茶)改装
1986 年 4 月	宅地建物取引業登録
5 月	自動車運送取扱業登録
1988 年 1 月	員外利用許可(神戸大学の校費)
4 月	MEDICO ATRIUM(医学部施設)開設
8 月	LOFT 学生会館書籍部に移転
1992 年 1 月	滝川記念学会館食堂(教職員用施設)運営受託
1993 年 1 月	両替業務の開始認可(平成 10 年 4 月法改訂に伴い廃止)
1994 年 8 月	員外利用許可(神戸大学の来訪者)
9 月	国際文化学部食堂リニューアル
1995 年 1 月	阪神・淡路大震災で被災
1996 年 4 月	旅行業法の改定に伴い、運輸大臣登録一般旅行業代理店登録を廃業し、旅行業第 3 種登録(海外旅行・国内旅行の手配)

1997 年	6 月	国際文化学部購買リニューアル及び LOFT の移転
1998 年	5 月	三木記念会館食堂(教職員用施設)運営受託
1999 年	6 月	宅地建物取引業で医学部店を支店として登録
2000 年	5 月	工学部喫茶室(エコール)屋外テラス拡張(48 席)
	6 月	定款変更の兵庫県知事認可(名称変更、出資一口金額の変更等) 神戸大学生協同組合に名称変更
	7 月	学生会館食堂廃止、隣接する書籍部拡張(約 80 坪)
2001 年	8 月	工学部購買店拡張(約 3 坪)
2002 年	11 月	六甲台食堂・喫茶・書籍購買店、新施設移設準備に伴い閉店(仮店舗営業)
2003 年	1 月	六甲台新施設(アカデミア館)食堂・レストラン・ショップ営業開始
	10 月	神戸大学と神戸商船大学の統合に伴い、海事科学部食堂・ショップ営業開始
2004 年	4 月	国立大学法人神戸大学と協定書・業務委託契約書を締結し、神戸大学における福利厚生事業全般を受託
	8 月	国際文化学部店、カフェリア、パンショップ改装
	8 月	工学部店リニューアル
	9 月	LANS BOX 店リニューアル
2006 年	2 月	工学部食堂リニューアル
	6 月	員外利用許可(酒類販売事業)
	9 月	LANS BOX 店リニューアル 国際文化学部店・BELBOX ショップ酒類販売業登録
2007 年	2 月	工学部喫茶エコール閉店
	3 月	発達科学部店移設・発達科学部食堂ホール改装
	8 月	国際文化学部店改装
	12 月	国際文化学部食堂・発達科学部食堂厨房改装に伴い閉店 学生会館店全面改装 サービスセンター改装に伴い移転
2008 年	3 月	国際文化学部店舗内ゆうちょ銀行 ATM 稼動開始
	4 月	国際文化学部食堂・サービスセンター・発達科学部食堂営業開始
	8 月	国際文化学部店改装
	12 月	国際文化学部食堂・カフェリアパンショップ・発達科学部食堂・学生会館店改装
2009 年	4 月	総務部(組合員サポートデスク)改装
	8 月	BELBOX ショップ店舗内ゆうちょ銀行 ATM 稼動開始
2010 年	3 月	基幹システム・店舗システム変更(大学生協システム)
	8 月	医学部店改装
	12 月	保健学科店改装
2011 年	2 月	LANSBOX 店改装
	6 月	大学生協共済連加入
	8 月	大学生協神戸事業連合と大学生協大阪事業連合が併合し、大学生協阪神事業連合となる
	10 月	全店舗にて煙草の取扱いを中止
2012 年	3 月	日本生活協同組合連合会脱退
	4 月	神戸大学附属図書館学内書籍等運搬業務請負
	6 月	平成 24 年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
	9 月	LANSBOX 店改装
	12 月	瀧川記念会館喫茶コーナー業務委託

2013 年		パートタイマー・エルダースタッフ就業規則改定
	1 月	神戸大学職員対象英語外部試験(TOEIC-IP)実施請負
	3 月	平成 25 年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
	7 月	Microsoft ソフトウェアライセンスメディアインストールキット販売開始
	9 月	総務部改装
2014 年	10 月	神戸大学職員対象英語外部試験(TOEIC-IP)実施請負
	2 月	神戸大学附属図書館学内書籍等運搬業務請負
	3 月	平成 26 年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
	8 月	工学部食堂・ショップ耐震工事に伴い一時閉店 神戸大学職員対象英語外部試験(TOEIC-IP)実施請負
	10 月	臨時総代会 神戸大学附属中等教育学校への店舗開設承認
2015 年	1 月	工学部食堂・ショップ営業再開
	3 月	平成 27 年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
	4 月	附属中等教育学校店営業開始
	8 月	全学ソフトウェアライセンスサポート業務請負
	10 月	入学試験合格者書類発送委託契約書締結(生協資料同封発送)
2016 年	11 月	学生総合共済全店舗受付業務開始
	2 月	神戸大学附属図書館学内書籍等運搬業務請負
	3 月	カフェリア・パンショップ業態変更に伴う改装 平成 28 年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
	9 月	LANSBOX 食堂厨房内ケータリング調理エリア設置 大学生協関西西北陸事業連合設立(阪神・京都・北陸の 3 事業連合合併)
	10 月	LANSBOX 食堂 2 階留学生食事対応開始(食堂名：LANS Vege Dining) 国際文化学部食堂新レーン増設(Wレーン化)
2017 年	2 月	神戸大学附属図書館学内書籍等運搬業務請負 楠地区を除く自動販売機設置及び管理に関する入札参加
	3 月	楠地区を除く自動販売機設置及び管理に関する業務受託 平成 29 年度神戸大学英語外部試験(TOEIC-IP・TOEFL-ITP)実施請負
	7 月	学内可燃ゴミ回収業務受託
	9 月	正規職員就労条件を関西西北陸事業連合同一化に伴う就業規則変更
2018 年	2 月	PiTaPa カード利用終了 生協 IC カード募集開始
	3 月	平成 30 年度神戸大学英語外部試験(TOEIC L&R IP・TOEFL-ITP)実施請負 英語外部試験受験料一部支援制度申請受付業務 神戸大学 PC 必携化ワーキングオブザバー参加(3 月までの全 10 回に参加)
	6 月	役員報酬規則・役員の報酬及び退任慰労金支給基準に関する細則を関西西北陸事業連合と同一化 アカデミア館 2 階(BELBOX ショップ内)ゆうちょ銀行 ATM 撤去
	8 月	大学生協事業連合設立(北海道・東北・東京・東海・関西西北陸・九州の 6 事業連合合併)
	11 月	学食定期募集開始
2019 年	2 月	バイク取扱(販売・修理等)終了
	3 月	平成 30 年度神戸大学英語外部試験(TOEIC L&R IP・TOEFL-ITP)実施請負
	4 月	自賠責保険取扱終了
	9 月	神戸親和女子大学生生協との「相互協力に関する協定書」を締結
	10 月	「キャッシュレス・消費者還元事業主」認可

2020 年	4 月	正規職員定年後再雇用新制度の導入
		レジ袋有料化
		緊急事態宣言発出(4 月 7 日から 5 月 21 日)ならびに入講禁止 (4 月 7 日から 5 月 6 日)に伴い全店臨時休業
		学生会館店にて教科書のオンライン販売を開始
	5 月	5 月 7 日より遠隔授業により開始
		LANSBOX 店を時間短縮ならびに限られた商品販売にて営業再開
	6 月	国際文化学部店・医学部店・学生会館店・サービスセンター・組合員サポートデスクを、電話・FAX・メール等の対面以外による対応にて営業再開(短縮営業)
		レストランさくらにて配達弁当開始
		工学部食堂・LANSBOX 食堂・医学部食堂・医学部店を時間短縮にて営業再開
		「新型コロナウイルス感染症対応 基本方針」を策定
	8 月	名谷キャンパス A 棟改修(保健学科食堂・保健学科店も改修対象のため閉店)
		工学研究科院試に伴う英語外部試験実施請負
		工学部店(てくてく)を手作り弁当テイクアウトコーナーに業態変更
2021 年	10 月	国際文化学部店・サービスセンター・組合員サポートデスクを時間短縮にて対面での営業再開
		海事科学部食堂を時間短縮にて営業再開
		名谷キャンパス F 棟 1 階フロアにて手作り弁当の販売開始
		国際文化学部食堂を時間短縮にて営業再開
	11 月	海事科学部店を時間短縮ならびに週 2 回にて営業再開
	12 月	名谷キャンパス F 棟 1 階フロアにて手作り弁当の販売終了
	1 月	国際文化学部食堂臨時閉店
		学生会館店の業態変更(教科書販売専門店に変更)
		書籍値引制度終了(生協 IC カード決済におけるポイント付与に変更)
	2 月	令和 3 年入学者より生協加入時に生協 IC カード発行へ切替
		令和 3 年度神戸大学英語外部試験(TOEIC L&R IP・TOEFL-ITP)実施請負
		令和 3 年度神戸大学英語外部試験(TOEIC L&R IP・TOEFL-ITP)実施請負
2022 年	4 月	LANS HALAL Vege Dining 以外の営業を時間短縮にて再開
		保健学科食堂・保健学科店の営業再開
	7 月	深江キャンパス学生会館改修に伴い海事科学部食堂・ショップ閉店
		タツミラウンジにて手作り弁当ならびに教科書販売開始(7 月・10 月)
	11 月	海事科学部食堂・海事科学部店の営業再開
		学生総合共済の大学生協共済連とコープ共済連による共同引受開始
		コロナ禍に於けるケータリング利用ルールを策定
	2 月	食堂での Tuo カード利用決済終了
	3 月	神戸大学・タイガー魔法瓶(株)と 3 者にて SDGs 推進の共同活動契約を締結
		令和 4 年度神戸大学英語外部試験(TOEIC L&R IP・TOEFL-ITP)実施請負
		楠地区を除く自動販売機設置及び管理に関する入札参加
	4 月	楠地区を除く自動販売機設置及び管理に関する業務受託
	6 月	瀧川記念会館食堂ならびに LANS HALAL Vege Dining を除き全店舗営業
	8 月	学生総合共済以外のコープ共済保険商品取り扱い開始
		学生会館店閉店(BELBOX ショップへ事業統合)
		プラスチック製カトラリー・ストロー有料化
	9 月	大学生協共済連解散(コープ共済連へ全共済事業を譲渡)
		神戸大学と食堂利用データの提供に関する共同研究契約を締結

2023 年	10 月	コープ共済連にて学生総合共済を含む全共済事業の取り扱い開始
	11 月	医学部店酒類販売業登録
	12 月	LANSBOX 店酒類販売業登録
	1 月	新レジシステム(ユビレジ)運用開始 大学生協アプリでの決済利用開始
	6 月	医学部店・医学部食堂新福利厚生施設移転 LANS HALAL Vege Dining 営業再開
2024 年	9 月	瀧川記念会館食堂閉店(大学へ施設を返還)
	10 月	CO・OP 火災共済ならびにマイカー共済の取り扱い開始 BELBOX カフェテリアにて夕食営業開始
	4 月	BELBOX カフェテリアにて土曜日昼食営業開始
	7 月	お手拭き(ナフキン)のレジでの無償提供を中止(8 月 1 日より有料化)
	8 月	附属学校ショップ移転
	9 月	附属学校ショップを Rabbit's Square に店舗名変更(生徒会にて新名称募集)
	10 月	セブンイレブン工学部店にて、神大オリジナルグッズの販売開始
	12 月	手作りパンの製造・販売を開始(鶴 1 食堂の旧カフェリア・パンショップコーナーを改装) 鶴甲第 1 キャンパス、鶴甲第 2 キャンパス、深江キャンパスの食堂・ショップの店舗名変更 (組合員からの応募を参考) 国際文化学部食堂を鶴 1 食堂に変更 国際文化学部店を鶴 1 ショップに変更 発達科学部食堂を鶴 2 食堂に変更 発達科学部店を鶴 2 ショップに変更 海事科学部食堂を深江キッチンに変更 海事科学部店を深江ショップに変更

2024 年度 内部統制整備の理事会議決に基づく行動計画評価

※203 年度第 5 回理事会(2023 年 10 月 27 日開催)にて行動計画を設定し、2024 年度第 10 回理事会(2025 年 3 月 17 日開催)にて評価を議決しました。

2024 年度の内部統制行動計画	評価	備 考
1. 理事・委員及び職員の職務の執行が、法令・定款などに適合することを確保します		
理事会・代表理事は、法令や定款の遵守が重要であり、経済的利益に優先することを自覚して、常にこの立場で意思決定・業務執行に当たります。	○	第 1 回理事会にて理事会規則等を説明。また各審議承認事項提案時に説明する。 また、各諸規則をホームページにて公開する。
2. 損失の危険の管理を行います		
新型コロナウイルス感染症の位置づけが 2 類から 5 類となり、行動制限等が大きく緩和されました。ただ引き続き、感染防止ならびに職員の健康管理を行います。	○	各事業会議にて情報共有を行う。
食中毒・個人情報事故を発生させると組合員にも大きな損害が及ぶことを自覚し、理事会で専務理事からこの危機への対処状況の報告を受け確認します。	○	2024 年度は対象となる事象は発生していません。 また第 4 回理事会にて危機管理規則を制定する。
3. 財務報告を適正に作成します		
理事会は、当期の損益状況が剰余金あるいは損失金に関わらず、適正な財務報告を作成することが理事会の責務と確認します。	○	各理事会において事業部報告ならびに決算報告を行う。 総代会議案書ならびに事業報告書をホームページにて公開する。
専務理事は、損失隠し・不良資産隠しは法令違反であり、組合員への背信行為だと自覚し常に適正な財務報告をまとめ理事会に提案する姿勢を堅持します。	○	
専務理事は、在庫・未収金・買掛金・預り金・出資金・固定資産などで実態と帳簿残高の差異が生じやすいことを踏まえ、職員と適切に分担して実態を帳簿残高に表現するように努めます。また、職員に対し少なくとも毎年 12 月の決算の前(12-1 月)に 1 回以上、決算書に表現していない不良在庫・未収金等を正しく処理することを指示します。	○	12 月の各事業部会議にて精査を行う。
専務理事は、法令に基づきこれらの書類を作成し、理事会に提案します。	○	
4. 理事・委員及び職員の職務の執行が効率的に行われるようにします		
理事会は、理事会規則に基づき年 12 回程度開催し、必要な事項を文書または口頭にて簡潔に報告し、理事会で議決すべき事項をもれなく決するほか、そのときどきの状況に応じた重要な事項について時間をとって協議し必要な意思決定を行います。	○	

専務理事は、自らの重点や各役職者の分担等が適切か、精選する業務は何か、新しい課題を実行するために適切な配置がされているか、従来専務理事や正規職員が担当してきた業務のうち新たにパートタイマーに担わせる業務は何か等に十分な関心を払い、特に新年度の事業計画を検討する際にこれを文章化して理事会に報告します。	○	第7回理事会にて2025年度事業方針骨子ならびにビジョンとアクションを提案しました。各職員へは部内報にて通達しました。
専務理事及び各職員は、店舗等での現在の作業方法・分担・作業環境・各作業に要する時間・日々の稼働計画等を当然だと考えず、意思と目標を持って改善をすすめ、経営効率を高め続けます。	○	各事業会議にて検討し、都度理事会にて協議を行いました。
専務理事及び各職員は、「神戸大学職員行動指針」を確認し、それに基づく事業・活動を行うことでより高い成果を上げられることを確信し、努力を重ねるよう努めます。	○	

2025年度 内部統制計画

※2024年度第10回理事会(2025年3月17日開催)にて議決しました。

1. 理事・委員及び職員の職務の執行が、法令・定款などに適合することを確保します
 - 理事会・代表理事は、法令や定款の遵守が重要であり、経済的利益に優先することを自覚して、常にこの立場で意思決定・業務執行に当たります。
2. 損失の危険の管理を行います
 - 理事会は、危機管理規則(2024年9月24日制定)に基づき、想定される代表的な危機(自然災害や感染症の蔓延等)に際しては適切に備えます。
 - 食中毒・個人情報事故を発生させると組合員にも大きな損害が及ぶことを自覚し、理事会で専務理事からこの危機への対処状況の報告を受け確認します。
3. 財務報告を適正に作成します
 - 理事会は、当期の損益状況が剰余金あるいは損失金に関わらず、適正な財務報告を作成することが理事会の責務と確認します。
 - 専務理事は、損失隠し・不良資産隠しは法令違反であり、組合員への背信行為だと自覚し常に適正な財務報告をまとめ理事会に提案する姿勢を堅持します。
 - 専務理事は、在庫・未収金・買掛金・預り金・出資金・固定資産などで実態と帳簿残高の差異が生じやすいことを踏まえ、職員と適切に分担して実態を帳簿残高に表現するように努めます。また、職員に対し少なくとも毎年の決算の前(12-1月)に1回以上、決算書に表現していない不良在庫・未収金等を正しく処理することを指示します。
 - 専務理事は、法令に基づきこれらの書類を作成し、理事会に提案します。
4. 理事・委員及び職員の職務の執行が効率的に行われるようにします
 - 理事会は、理事会規則に基づき年12回程度開催し、必要な事項を文書または口頭にて簡潔に報告し、理事会で議決すべき事項をもれなく決するほか、そのときどきの状況に応じた重要な事項について時間をとって協議し必要な意思決定を行います。

- 専務理事は、自らの重点や各役職者の分担等が適切か、精選する業務は何か、新しい課題を実行するために適切な配置がされているか、従来専務理事や正規職員が担当してきた業務のうち新たにパートタイマーに担わせる業務は何か等に十分な関心を払い、特に新年度の事業計画を検討する際にこれを文章化して理事会に報告します。
- 専務理事及び各職員は、店舗等での現在の作業方法・分担・作業環境・各作業に要する時・日々の稼働計画等を当然だと考えず、意思と目標を持って改善をすすめ、経営効率を高め続けます。
- 専務理事及び各職員は、「神戸大学職員行動指針」を確認し、それに基づく事業・活動を行うことでより高い成果を上げられることを確信し、努力を重ねるよう努めます。

なお、本議案の官庁等への届け出等については、本通常総代会の議決の趣旨に反しない範囲内で字句の修正等をさせていただくことを理事会に一任願います。

監査報告書

私たち監事は、2024年3月1日から2025年2月28日までの2024年度の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、他の監事と意思疎通及び情報の交換を図るほか、理事及び職員等と意思疎通を図り、情報収集及び監査の環境の整備に努めました。各監事は、理事会に出席し、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本部において業務及び財産の状況を調査いたしました。

以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告書及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る決算関係書類（貸借対照表、損益計算書、損失処理案）及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査の結果

（1）事業報告書等の監査結果

- 一、事業報告書及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、組合の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二、理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

（2）決算関係書類及びその附属明細書の監査結果

決算関係書類及びその附属明細書は、組合の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

（3）損失処理案監査結果

損失処理案は法令及び定款に適合し、かつ、組合財産の状況その他の事情に照らして指摘すべき事項は認められません。

2025年4月25日

神戸大学生生活協同組合

監事 大谷 恭弘 

監事 中出 麻紀 

監事 小柴 裕正 

第2号議案 2025年度事業計画および予算決定の件

※第2号議案は2025年度に行う活動や改善、事業計画を報告します。

第2号議案－1 2025年度活動計画

【活動方針】

2025年度の活動方針は以下の3点です。

① 客数・利用の増加と付加価値の創造

来店者数(利用者)の増加を目指します。価格改定等により、組合員一人ひとりが利活用を控えるや利用単価・点数が下がる懸念があります。神戸大学生協は、いかに組合員が引き続き利活用が頂けるかを考え、各店舗の創意工夫をもって取り組みます。

また、学外の事業者と学内の生協での優位性(価格や店舗の身近さ・親近感)が失われつつあります。価格差は小さくなり、インターネット販売等により来店動機も薄くなる傾向です。組合員が生協を利活用頂くための付加価値を創造します。

※2024年度は付加価値の探求に取り組みました。

②事業剰余金（経常剰余金）予算達成

ショップ事業部は経常剰余金、フードサービス事業部は事業剰余金に拘り、経営再建に努めます。

③従業員満足度の向上

職員の離職率を低下させることで、安定した店舗運営を目指します。このことは、採用費等の削減につながり、そして経営再建を目指す上で、経験豊富な職員の力は必要不可欠と考えます。

職員一人ひとりが、安心して勤務できる環境を整えることで、全職員が同じ方向を目指すことができます。そのことで職員が一丸となり、組合員のキャンパスライフに寄り添い、大学に貢献できると考えます。

【ビジョンとミッションの策定】

神戸大学生協の「ビジョンとミッション」は明確化し、事業・活動に取り組みます。

《ビジョン》

大学コミュニティの一員を自負できる組織へ

《ミッション》

・学術・研究への支援

学術・研究に必要な勉強機器、電算機、書籍等の提供ならびに相談、情報提供

・組合員のキャンパスライフのさらなる向上

安心・安全な食環境の提供。学生生活において必要な物資・サービスの安定した提供
共済保険ならびにそれに付随した支援により、健康的かつ活動的な生活を安心して過ごせる環境の提供

・生協の事業・活動を通じて組合員の自己成長を促す

・大学UIへの貢献

大学のブランドイメージを高めることができる活動に寄与（貢献）する

各事業部活動方針

【ショップ事業部活動方針】

1. 2025 年度予算数値

単位：千円

科目	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
811 供給高	434,415	163,859	92,592	85,744	81,251	80,560	71,908	121,459	83,839	77,256	81,029	136,818	1,510,730
815 供給値引	515	183	187	207	233	162	250	281	234	325	241	276	3,094
P0991 供給剰余金	63,874	28,171	11,843	11,217	11,754	8,336	7,404	18,387	10,708	9,995	9,862	15,470	207,021
P0850 その他事業収入	32,766	22,944	7,173	1,583	3,101	2,152	4,244	7,944	3,210	3,459	3,054	12,865	104,495
P0992 事業総剰余金	96,640	51,115	19,016	12,800	14,855	10,488	11,648	26,331	13,918	13,454	12,916	28,335	311,516
722 職員給与	4,281	4,992	3,943	9,171	3,959	3,930	3,910	5,032	4,030	11,554	4,024	4,014	62,840
723 定時職員給与	9,515	9,200	9,146	7,758	7,068	7,902	5,562	6,208	8,960	7,794	7,286	8,056	94,455
725 法定福利費	1,441	1,506	1,494	1,563	2,201	1,450	1,436	1,486	1,599	1,703	2,123	1,660	19,662
726 厚生費	165	68	71	12	40	48	26	57	43	30	20	230	810
728 派遣人件費	385	385	385	385	385	385	345	320	385	385	385	385	4,515
P0730 人件費合計	15,787	16,151	15,039	18,889	13,653	13,715	11,279	13,103	15,017	21,466	13,838	14,345	182,282
738 広報費	1,947	628	836	240	170	143	115	497	116	419	158	403	5,672
731 消耗品費	1,475	937	422	534	546	346	374	395	396	396	487	655	6,963
737 車両運搬費	12	5,436	488	102	88	132	635	196	92	86	642	386	8,295
732 施設維持管理費	15	226	823	233	283	215	259	169	231	183	183	408	3,228
733 減価償却費	276	276	276	276	276	276	276	276	276	276	276	276	3,312
739 賃借料	150	120	101	101	116	101	101	216	93	109	130	150	1,488
734 水道光熱費	284	412	380	420	459	565	567	532	445	425	445	578	5,512
749 委託料	415	941	938	955	239	321	447	2,024	245	616	299	616	8,056
748 研修採用費	35	40	15	0	50	0	81	0	50	5	7	50	333
741 調査研究費	0	1	1	1	12	1	1	1	1	20	2	0	41
740 会議費	0	180	55	66	7	0	0	5	0	0	0	0	313
746 諸会費	95	0	78	50	5	0	0	5	66	0	0	0	299
735 通信交通費	536	495	189	229	512	292	668	425	502	252	257	286	4,643
752 雑費	0	0	50	50	0	0	0	56	50	400	0	0	606
P0750 物件費合計	5,240	9,692	4,652	3,257	2,778	2,392	3,544	4,801	2,563	3,187	2,886	3,810	48,802
P3000 事業経費合計	21,027	25,843	19,691	22,146	16,431	16,107	14,823	17,904	17,580	24,653	16,724	18,155	231,084
P0993 事業剰余金	75,613	25,272	-675	-9,346	-1,576	-5,619	-3,175	8,427	-3,662	-11,199	-3,808	10,180	80,432
P0870 事業外収益	64	332	45	693	354	235	80	160	270	120	50	200	2,603
P0770 事業外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
P0994 経常剰余金	75,677	25,604	-630	-8,653	-1,222	-5,384	-3,095	8,587	-3,392	-11,079	-3,758	10,380	83,035

2. 2025 年度事業活動重点課題

①客数・利用の増加と付加価値の創造

- ・食品分野の利用を指標として、24 年度実績から 30%UP を目指します。

食品分野 25 年度供給高予算値 168,058 千円 前年実績比 131.3% 前年実績差 40,063 千円

②事業剰余金（経常剰余金）予算達成

- ・前年実績比 108.2% +6,260 千円を達成します。

攻める分野（食品分野）と守る分野（新入生支援活動事業）下がる分野（校費・書籍分野）を明確にし、攻める分野の収益アップにより事業剰余金（経常剰余金）予算達成を目指します

③従業員満足度の向上

- ・フィードバックの実施

定期的にスタッフの意見を聞くアンケートや面談を行い改善点の把握を行います。

- ・キャリア開発支援

研修やセミナーを提供し、スタッフのスキル向上を促進します。

- ・チームビルディング活動

定期的な交流イベントやチーム活動を通じて、スタッフ間のコミュニケーションを促進します。

- ・職場環境の改善

快適なオフィス環境を整えていきます。設備面だけでなく、スタッフ間で自由意見が出しあえる

職場づくりを促進します。

《食品分野供給高 30%UP 達成の為の取組》

(1) 新規事業うりばーベーカリー本格稼働で約 30,000 千円

製造計画 月～木（鶴 1 ショップ）1 日 1,000～1,200 個

金（六甲地区全店）1 日 1,200 個

※夏春休み期間省く

(2) MEALPASS（旧称学食定期）の分類開放（08・09・63）に伴う対象分類の利用増効果

※08 分類＝パン（仕入）/米飯 09 分類＝飲料デザート 63 分類＝内製弁当/内製パン

08 分類 25 年度供給高予算値 30,630 千円 前年実績比 105.6% 前年実績差 1,625 千円

09 分類 25 年度供給高予算値 51,203 千円 前年実績比 116.7% 前年実績差 7,311 千円

63 分類は（1）に記載

(3) 品枯れ防止対策の徹底により昼休みは勿論、3 限目以降の利用増加を目指します。

(4) 混雑緩和対策としてセルフレジのテスト導入を実施します（鶴 2 ショップを予定）。

テスト導入で問題点等を検証し、他店への導入をすすめます。

【フードサービス事業部活動方針】

1、2025 年度予算数値

科目名	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	年間合計
供給高	26,638	67,383	70,537	71,910	75,408	26,715	28,669	76,405	60,788	61,871	56,896	32,976	656,195
供給剰余金	14,491	37,272	39,025	40,005	41,836	14,662	15,740	42,550	34,124	34,592	31,327	17,906	363,528
事業総剰余金	14,491	37,272	39,025	40,005	41,836	14,662	15,740	42,550	34,124	34,592	31,327	17,906	363,528
職員給与	1,865	2,522	1,854	4,168	1,854	1,808	1,796	2,530	1,882	5,236	1,905	1,836	29,253
定時職員給与	10,362	12,173	18,127	18,633	18,342	20,184	10,515	12,114	20,785	17,069	17,807	16,514	192,625
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
法定福利費	1,457	1,474	1,476	1,500	1,822	1,463	1,469	1,474	1,472	1,488	1,864	1,475	18,435
厚生費	95	94	136	183	132	80	125	172	159	202	120	188	1,687
人件費合計	13,779	16,262	21,592	24,484	22,150	23,535	13,906	16,290	24,298	23,995	21,696	20,013	241,999
広報費	0	160	30	16	16	0	50	16	16	16	14	0	334
消耗品費	1,024	1,827	1,646	1,612	1,468	1,073	924	1,614	1,463	1,252	1,404	3,159	18,466
車輜運搬費	2	37	56	42	69	89	289	108	32	52	89	133	999
施設維持管理費	146	1,016	937	894	1,156	1,010	956	1,027	908	920	940	1,544	11,454
減価償却費	357	357	357	357	357	357	357	357	357	357	357	357	4,280
賃借料	0	7	7	7	7	7	7	40	7	7	7	14	117
水道光熱費	340	1,833	2,193	2,712	3,004	3,019	2,634	3,091	2,137	2,749	2,771	6,439	32,922
委託料	199	352	360	342	366	305	361	366	322	304	315	389	3,981
研修採用費	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	200	2,400
調査研究費	0	0	10	80	0	0	0	0	30	0	0	0	120
会議費	72	1	1	1	1	1	72	1	1	1	1	1	154
通信交通費	6	62	55	53	61	51	60	57	52	56	69	107	689
雑費	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	7
事業連合委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
物件費	2,346	5,852	5,852	6,316	6,704	6,118	5,910	6,876	5,525	5,914	6,167	12,343	75,923
事業経費	16,125	22,114	27,444	30,800	28,854	29,653	19,816	23,166	29,823	29,909	27,863	32,356	317,922
事業剰余金	-1,634	15,158	11,581	9,205	12,982	-14,991	-4,076	19,385	4,301	4,683	3,464	-14,451	45,606
雑収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5,000	5,000
経常剰余金	-1,634	15,158	11,581	9,205	12,982	-14,991	-4,076	19,385	4,301	4,683	3,464	-9,451	50,606
税引前当期剰余金	-1,634	15,158	11,581	9,205	12,982	-14,991	-4,076	19,385	4,301	4,683	3,464	-9,451	50,606
G P 率	54.4%	55.3%	55.3%	55.6%	55.5%	54.9%	54.9%	55.7%	56.1%	55.9%	55.1%	54.3%	55.4%
人件費率	51.7%	24.1%	30.6%	34.0%	29.4%	88.1%	48.5%	21.3%	40.0%	38.8%	38.1%	60.7%	36.9%
物件費率	8.8%	8.7%	8.3%	8.8%	8.9%	22.9%	20.6%	9.0%	9.1%	9.6%	10.8%	37.4%	11.6%
事業剰余率	-6.1%	22.5%	16.4%	12.8%	17.2%	-56.1%	-14.2%	25.4%	7.1%	7.6%	6.1%	-43.8%	7.0%
正規人員	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
正規残業時間	70	65	65	65	65	45	40	55	60	65	70	40	705
パート時間	7,025	7,556	13,549	14,080	13,751	14,499	6,741	7,784	14,653	11,913	12,449	11,550	135,550
労働生産性	277	668	408	403	431	144	313	743	331	408	354	218	398
利用客数	39,278	123,901	125,680	127,456	134,205	44,319	48,550	134,437	103,922	106,052	98,916	56,473	1,143,188
利用単価	678	544	561	564	562	603	591	568	585	583	575	584	574

2、2025 年度事業活動重点課題

1) 神戸大学における食の事業を通し、組合員への貢献・満足度を高めます。

①客数を指標とし、1,143,188 人の利用を目指します。

☞昼食時間帯の混雑対策を徹底し、昼食時間帯の利用環境の向上を目指します。

- ・各コーナーの見直しによるスピード出食。
- ・登校率が上がる新学期、各クォーター開始時を中心に見直しをかける。
- ・迷わず利用出来るよう食堂の場所や利用方法、メニューが一目で分かるようにする。
- ・列動線を整え混雑感をなくす。
- ・施設の有効活用(鶴 1 食堂のクイックレーン、さくら弁当(4 月)、工学テイクアウトショップ・LANS HALAL Vege Dining) による分散利用を進める。
- ・テイクアウト商品の強化。
- ・手作り弁当のブラッシュアップによるテイクアウト商品の強化。
- ・600 円弁当を核に連合メニューも積極的に採用し飽きのこない編成にする。
- ・手作りパンの製造。
- ・鶴 1 食堂厨房を使用しパンの製造、ショップ事業部で販売。
- ・レジ決済のスピードアップ。
- ・各店舗 5 人/分以上を達成する。
- ・アプリ決済の低い医学部では「アプリ専用レジ」を設置する。
- ・新学期を中心に掲示、案内放送、誘導によるスムーズなアプリ対応。
- ・現金決済の多い店舗を中心にレジでアプリ、生協加入の案内を行う。

☞昼食以外の時間帯、土曜日、留学生、教職員向けの食環境を整えます。

- ・BELBOX カフェテリアの土曜日営業、営業時間の延長。
- ・BELBOX カフェテリア、工学部食堂の夜営業のブラッシュアップ。
- ・教職員向けにレストランさくらを予約制で対応。
- ・教職員向けに幕の内型のテイクアウト弁当販売の強化。
- ・留学生向けに LANS HALAL Vege Dining の営業。
- ・手作りパンの食堂営業時間外の販売（購買店舗）。

②Q S S₂C、衛生管理の改善を進め店舗のレベルを上げ、組合員満足度を高めます。

☞Q項目 85%、S 2 項目 85%、C 項目 85%を達成された店舗作りを進めます。

- ・月次会議で店舗運営担当を中心として発信・課題の改善を進める。
- ・臨店チェック、相互チェックの実施。
- ・職場会議や MT で課題を明確にしながら改善を進める。

☞施設衛生点検項目で全店 A 評価を達成された店舗作りを進めます。

- ・臨店チェックの実施。
- ・月次会議で衛生担当を中心として発信・課題の改善を進める。
- ・職場会議やミーティングで課題を明確にしながら改善を進める。
- ・スキルアップ講座の全員参加。

③神戸大学生協全体の食に貢献します。

☞MEALPASS の役割を見直し神大生協全体の食に貢献します。

- ・新入生シェア率 40%、継続率 50%、全学年シェア率 25%を目指す。
- ・購買分類の利用開放による神大生協全体の利用増加を目指す。

- ・2食プランによる昼食以外の利用機会の増加を目指す。
- ・返金制度の導入による、女子学生、自宅生、上回生の利用増加を目指す。
- ☞手作り弁当、手作りパンを中心にテイクアウト商品を強化します。
- ・ショップ事業部と協力体制の構築、製造箇所分散による製造能力の強化。
- ・後期以降に鶴1食堂以外の手作りパンの製造拠点を作り、購買全店で販売する。
- ・パン、弁当以外のテイクアウト商品の検討。
- ☞閑散期に関しては利用とコストのバランスを取り食の環境を整えます。
- ・提供コーナーの絞り込みによる廃棄ロスの削減と経費のコントロールに重点を置く。
- ☞コンパ、ケータリング事業をブラッシュアップします。
- ・利用者のニーズに応え幅広く対応をする。
- ・外部ケータリング業者の活用。
- ・各店舗の設営、片付けなどワークシェアを進め負担を軽減。
- ④神大生協の組合員に対して知る活動を進めます。
- ☞利用者アンケートの実施、ニーズを汲み取り店舗改善を進めます。
- ☞組合員と一番近い距離で働くスタッフの声を積極的に聞き、店舗改善に活かします。
- ⑤広報活動により、組合員に知らせる活動を強化します。
- ☞外から食堂の場所や利用方法が一目で分かるようにし迷わず利用出来るようにします。
- ☞SNSなど店舗内ではなく店舗外での宣伝活動を行います。
- ・Xの定期更新。
- ・LINE配信による食堂案内。
- ・CoMenuの活用によるメニューの事前告知やおすすめメニュー紹介。
- ・ホームページの定期更新。
- ⑥食生活支援事業としての役割発揮、地産地消、各種団体とのコラボ企画などにより、食堂での楽しさを演出します。
- ☞組合員の参画を促進し、大学生協としての役割を発揮します。
- ・一言カードの声には可能な限り応える。
- ・各食堂で食生活相談の実施。
- ☞MEALPASSを利用いただく事で組合員の食と健康を支えます。
- ・キャンパス格差を極力なくしたメニュー編成にする。
- ☞100円夕食の実施を通し組合員に利用還元を行います。
- ・BELBOXカフェテリア、工学部食堂で100円夕食の実施。
- ☞神大生協独自企画により、利用する楽しさを演出します。
- ・メニュー担当を中心に年度計画の立案・実行。
- ⑦新店・リニューアル店舗の組合員満足を高めます。
- ☞鶴2食堂のリノベーションを大学と協力しながら進めます。
- ・大学、組合員の要望を取り入れた店舗作りを行う。
- ・閉店期間中のテイクアウトを中心とした食の確保。

2) FS事業部全体で事業剰余予算を達成し、神大生協全体に貢献します。

①組合員に支持される店舗づくりをすすめ、供給高 656,195 千円を達成します。

- ☞各店舗予算客数に拘り、目標客数達成に向けて時間帯別に追及・対策の執行を徹底します。

☞ 昼食時間帯においては各コーナーの出食スピードに拘ります。

- ・各コーナーS₂基準を達成させる。

②事業規模に対応し、利用に合わせたコントロールを最重要課題とします。

☞ 各店舗客数M/H、定時職員人件費率を指標とし、利用に合わせた稼働計画・投下労働時間の執行・修正を行います。

- ・パート時間数に対する客数M/H、定時職員人件費率の予算数値を最下限と設定し利用に合わせた稼働計画のコントロールをする。

弁当・パンを含む	鶴1	BEL	工学	LANC	鶴2	医学	保健	海事
客数M/H	8.54	8.32	11.47	9.54	6.79	9.44	6.69	7.16
定時職員人件費率	30.1%	29.4%	21.7%	28.4%	40.0%	28.0%	43.0%	35.2%

※客数 M/H(客数マンアワー)：利用客数をパート職員の総労働時間で除じた数値です。この数値を分析することで、必要な職員の確保や作業段取りを正確に行うための改善につながります。

※定時職員人件費率：供給高に対して、パートタイマーの人件費の割合を表す数値です。

- ・1分単位勤怠、更衣手当による時間数増加を稼働計画の運用で最小限にとどめる。

☞ 閑散期営業については利用に合わせ効率化を進めます。

- ・各コーナーの絞り込みによる労務効率の向上。
- ・労働時間確保のためワークシェアの実施。

☞ 物件費に関しては、厨房内消耗品の計画的購入・削減・水道光熱費の削減を進めます。

- ・施設・設備担当を中心に進める。
- ・予算との乖離に関しては詳細に分析し原因の追究。
- ・水道光熱費は各店舗で削減対策を実施する。
- ・安全衛生に関する修繕、省人化、長期的に見て投資効率の高いモノには積極的に投資し、長期的な固定費を削減させる。

③店舗作業のパート化を進め、マネジメントスタイルの構築を進めます。

- ・正規職員については日常的な店舗作業には従事せず抜けられる体制を目指す。
- ・残業時間の予算内執行。
- ・日時、週次、月次のルーティンワークもパート化していく。
- ・夜営業、土曜日営業のパート化を進める(RD、TD)。
- ・能力に応じ、店舗間異動や新たなポストへ登用する。

④連帯の研修や学習会への参加を通し店舗運営に必要なマネジメント力をつけます。

- ・正規職員を中心に連合主催の研修や学習会の参加を義務付ける。

⑤月次フード会議は、学び合いの場とします。

- ・統一のフォーマットを活用し分析改善を進める。
- ・店舗報告を中心に活発な議論の場とする。
- ・全員で各店舗の改善、Q S S₂Cのレベルアップを図る。
- ・店舗での取り組み報告や改善活動の共有により学び合いを深める。
- ・各担当者が積極的に発信を行い、全員で共有し、店舗改善に活かす。

⑥部門全体の作業のムリ・ムラ・ムダを無くし効率化を目指します。

☞ 各店舗の供給活動・対応など重複する作業については部門全体で役割分担し、作業の効率化を進めます。

- ・製造・配送・事務処理等、集中と分散の構築。

- ・店舗作業のワークシェアによる効率化。
- ・各担当(メニュー、店舗運営、施設設備、衛生食生活、コンパ・ケータリング)による発信と共有。

⑦NR-Gシステムをスムーズに運用します。

- ☞システム関係の運用をスムーズに進めます。
- ・必要に応じて情報の共有を行う。

3) 従業員の満足度を高め、全店舗スタッフが働きがいのある職場環境を整えます。

①方針や目指すべき状態を全店舗スタッフに共有し、共に達成することを目指します。

- ☞QSCチェック、食堂衛生チェックの結果を共有し、改善計画を共に進めます。
- ☞店舗方針や店舗の取り組み課題を明確にし、店舗スタッフが理解し取り組む店舗にします。

②職場会議やミーティング、店舗連絡網を活用したコミュニケーションを行います。

- ☞全体発信が必要な情報は、全店舗スタッフへ周知徹底します。
- ☞職場MTはクォーターごとに開催し、店舗スタッフ全員参加の職場会議を年2回開催します。
- ☞複数店舗の担当者は必ず1日1回は臨店します(六甲地区)。

③安全衛生、労災事故0件を目指します。

- ☞日々の観察や聞き取りを行い、労働災害を未然に防ぐための対策をします。
- ☞労災事故対応フローの見直しを行い、緊急時に速やかに対応します。

④新人スタッフの定着率アップを目指します。

- ・長期的な採用計画実行により慢性的な人手不足を解消。
- ・採用面接、OFFJTの再構築。
 - ・より効果があり効率的な方法の構築。
 - ・担当不在時はチーフ・マネージャーが実施出来るようにする。
 - ・店舗OJT、店舗責任者、トレーナーによるフォローアップ面談の実施。

⑤従業員が働きがいのある職場を目指します。

- ☞契約更新時には個人面談を全店舗スタッフと実施し、お互いの思いを聞き伝える場とします。
- ☞本人の働き方の希望・能力に応じ、店舗を横断しての勤務、店舗異動、ジョブローテーションや新たなポストに積極的な登用します。

【総務部】

1. 学生総合共済の加入率は、入学者の80%を目指します。また、35歳以上の組合員へは、引き続きCOOP共済保険商品を提案し、無保険とならないように尽力します。
2. 大学の入学手続きがオンライン化したことで、生協の加入手続き等が鈍化ならびに手続きの後ろ倒しとなりました。2年目となる2025年度は、大学の入学手続きと連動させる工夫を行い、シームレスに生協や学生総合共済への加入が行われるように取り組みます。
3. 大学生協アプリの決済利用が増加しています。さらに決済利用が増加するように、大学生協アプリのポイント率の増加等の企画を検討し、両事業部との連携を図ります。

※時間帯を指定(特にアイドルタイム)してのポイント〇倍や、曜日や日を指定しての〇倍、そして事前チャージに関しても、特定の日や曜日にチャージすれば〇ポイント贈呈等を検討します。

但し、ポイント付与の増加は大きな負担にもなっています。そのため、各商品の平時とある一定の期間におけるポイント付与率の変更の可能性を各事業部と検討を進めます。

※例えば、教科書販売に際しては、4月ならびに10月は100円につき10%のポイント付与率ですが、それ以外の期間は3から5ポイントの付与率に変更することの可能性を検討します。

4. 2025 年度は、学食定期を MEAL PASS として決済利用商品の範囲拡大や未使用残高を利用期間終了後に返金します(大学生協アプリへチャージ)。2025 年度は仕様変更の初年度となるため、利用動向を分析し、今後(2026 年度以降)のブラッシュアップに努めます。
5. 会計システム(買掛金管理や旅行関係)が新しくなります。各店舗が新しいシステムに順応できるように支援を行います。そして店舗の運営が早期に安定することを目指します。
6. 最低賃金が大きく改定されることや、パートタイマーの社会保険等への加入が増加することが予想されます。人件費は年々増加する中、労務管理を通して両事業部に最適な体制作りに向けての情報共有や助言を行います。
7. 新規事業の展開や、大学とのさらなる業務連携が図れるように準備を進めます。
8. 生協加入のメリットをより明確にするため、生協未加入者(来訪者等を含む)に対する非組合員価格での提供を検討します。

学生委員会活動方針

○25 年度の活動指針

23 年度開始時に、学生委員会(以下 GI)の活動の軸となる活動指針(以下 MVV と呼ぶ)を策定し、23 年度に引き続き 24 年度もこれをもとに企画の発案やその他活動を行ってまいりました。

今年度(25 年度)におきましても、以下に示します MVV を軸に活動してまいります。

【ミッション(神大 GI の活動理念)】

組合員に学生目線での価値還元を行う

大学生協は、組合員から預かった出資金を運用することで活動しているため、組合員へ利益を還元しなければいけない。これは大学生協の一組織(組織内委員会)である GI にも当てはまることである。GI は、学生組合員にて構成されており、還元を受ける側である。よって GI は、学生委員が様々な価値観や意見を学生の立場から共有し、組合員のより多様なニーズに対応した活動を行うことが可能である。これを GI の強みであると認識するとともに、自分も組合員の一員と捉え、組合員＝自分自身がそれぞれの「魅力ある大学生活」という価値の還元を実感できる状態を目指す。

※「価値還元」とは？

組合員の日々の利用による「収益」は、組合員に何らかの形で還元(利用還元)する必要がある。これは生協の事業活動上での還元だけではなく、GI も自分たちが創造できる「価値」を無形有形問わず「魅力のある大学生活につながるもの」と定義してそれを組合員に提供(還元)することを目指して活動している。

【ビジョン(どんな企画を行うか)】

生協と組合員の橋渡しとなる

大学生協は、組合員が必要とするサポートやサービスを提供している。しかし現時点では、大学生協は組合員にとって身近な存在として確立されていない。そこで、学生主体の組織である GI は、学生目線で組合員のニーズに意識を向け、自身の活動へと反映させるべきである。その活動を通して、大学生協の存在を身近に感じてもらうことを目指す。

【バリュー（ミッションを達成するための行動指針）】

① 組合員のニーズを的確に捉え、企画に反映させる。

ここでの「ニーズ」とは、組合員自身が持つ要望や悩み、不安といった顕在的なものに加えて、学生委員の視点から、大学生の知見として必要ではあるが現状不足しているといった社会からのニーズもまた、潜在的なニーズとして考える。

② お互いの頑張りを認め合う。

GIにおけるあらゆる活動は、常に誰かの頑張りによって支えられているので、それに対する感謝やリスペクトの心を忘れてはならない。また、自分自身の頑張りを仲間に伝え褒め合うことも、お互いを尊敬できる雰囲気づくりにおいて重要である。

③ 楽しみながら最後までやり遂げる。

GIでは、向上心を持ってやりたいことにチャレンジする機会を多く得ることができる。そして、その経験から得た学びを共有し、今後に活かすことは個人に限らず GI 全体の大きな成長につながる。また、活動を楽しみつつも、自身のキャパシティを把握し責任感を持って取り組むことが必要である。

④ 言い争うのではなく、意見を交換する。

GIの活動では話し合う場面が多くある。そこで自分の意見をはっきり伝えることは大切だが、頭ごなしに自分の価値観を押し付けてはいけない。お互いの考え方の違いを理解し、相手の意見を尊重しあうことで、より実のある話し合いが可能になる。

⑤ 持ちつ持たれつの関係を築く。

GI活動をする中で、悩みや苦勞を感じることもある。1人で抱え込まずそれらをみんなで共有し、持ちつ持たれつの関係を学生委員同士が築くことで、GI全体の一体感が生まれる。

○GI から学生組合員の皆様へ

私たち学生委員会(以下 GI)は、学生組合員が主体となり活動に取り組んでいる生協の組織内委員会です。大きな活動理念やどのような企画を行うか、また私たちが考える企画の実現に必要な行動指針は上記の通りです。その中にある「組合員に学生目線での価値還元を行う」というミッションと「生協と組合員の橋渡しとなる」というビジョンには、組合員(神戸大学の学生や教職員)のために行われている生協の事業・活動が、生協だけで独り歩きせず、組合員に寄り添った事業・活動になるように、私たち GI が様々な場面で連携するという意味も含まれております。

また、組合員の大部分を占める学生の日線で「魅力のある大学生活」という価値を還元できるという点が私たちの日々の活動の原動力であり、その実現を常に目指しております。その実現のために、選挙や環境問題啓発企画等の社会的課題の啓発活動や、SNS 等での有意義な情報発信、機関紙「Rambler Times」等の冊子の発行をしております。そして、新入生がスムーズな大学生活のスタートを切れるような情報を盛り込んだ冊子「うりぼう」の発行や、団体としての質を維持するために必要な新入生歓迎企画も行っております。近年では、神戸大学と連携して受験生（未来の神戸大学生協の組合員）へのサポートも行っております。

※詳細に関しては第一号議案の 2024 年度学生委員会活動報告を参照ください。

企画とは別に、GI から組合員への活動はもちろんのこと、GI 部員の活動へのモチベーションアップや企画の幅を広げるため、他大学 GI と交流会を実施し交流を広げるなどの活動も行ってきました。以上のように GI は多様な活動を行っていますが、まだまだ不十分な点があります。特に、私たちが時間をかけて行っている活動の情報や名称が、十分に組合員へ行き届いていない現状は大変残念に

感じています。近年では、毎年課題として上がるテーマでもあるため、今後必ず改善しなければならない問題と考えております。2025 年度はそういった課題の解決・改善に継続的に取り組みつつ、柔軟な発想でより多くの組合員のニーズに応えることで、学生目線での価値還元をしっかりと実現できるよう GI メンバー一丸となって取り組みます。

最後に、長くなりましたが、GI の活動には組合員の皆様の協力が不可欠です。ぜひ、皆様の最高の大学生活を実現できるようともに頑張っていきましょう！

神戸大学生協学生委員会
2024 年度委員長 飯田 陽向
2025 年度委員長候補 河元 峻

第2号議案－2 2025年度予算

1. 2025年度予算(案)

〈単位：千円〉

	合 計	ショップ 事業部	フードサービス 事業部	総務部
総供給高	2,156,746	1,510,730	656,204	0
供給値引	23,919	3,094	0	20,825
純供給高	2,132,827	1,507,636	656,204	▲20,825
供給剰余金	549,728	207,021	363,532	▲20,825
G P R	25.77%	13.73%	55.40%	100.00%
共済受託手数料収入	24,270	0	0	24,270
教育文化事業収入	534	0	0	534
供給事業手数料収入	344	0	0	344
	2,870	2,870	0	0
その他手数料収入	131,925	101,625	0	30,300
その他事業収入計	159,943	104,495	0	55,448
事業総剰余金	709,671	311,516	363,532	34,623
役員報酬	9,120	0	0	9,120
職員給与	94,201	62,840	29,257	2,104
定時職員給与	319,899	94,455	192,625	32,819
退職給付費用	5,520	0	0	5,520
法定福利費	46,495	19,662	18,434	8,399
厚生費	2,847	810	1,686	351
役員退職給与引当金繰入	780	0	0	780
賞与引当金繰入	7,000	0	0	7,000
派遣人件費	4,515	4,515	0	0
人件費合計	490,377	182,282	242,002	66,093
教育文化費	1,446	0	0	1,446
広報費	8,728	5,672	334	2,722
消耗品費	31,262	6,963	18,466	5,833
物流費	1,929	0	0	1,929
車輛運搬費	10,598	8,295	1,001	1,302
施設維持管理費	16,904	3,228	11,454	2,222
減価償却費	7,956	3,312	4,320	324
賃借料	2,740	1,488	117	1,135
水道光熱費	39,313	5,512	32,922	879
保険料	1,725	0	0	1,725
委託料	54,304	8,056	3,981	42,267
研修採用費	4,993	333	2,400	2,260
調査研究費	361	41	120	200
会議費	626	313	154	159
諸会費	7,303	299	0	7,004
渉外費	188	35	0	153
租税公課	552	6	0	546
通信交通費	10,634	4,643	689	5,302
雑費	14,734	606	7	14,121
事業連合委託費	59,967	0	0	59,967
物件費合計	276,263	48,802	75,965	151,496
事業経費合計	766,640	231,084	317,967	217,589
事業剰余金	▲56,969	80,432	45,565	▲182,966
事業外収益	21,669	2,603	5,000	14,066
事業外費用	0	0	0	0
経常剰余金	▲35,300	83,035	50,565	▲168,900
税引前当期剰余金	▲35,300	83,035	50,565	▲168,900

2. 2025 年度予算(案)と 2024 年度実績の対比

＜単位：千円＞

2025年度 予 算	総合計				2024年度 実 績	対比 (%)
		ショップ 事業部計	フードサービス 事業部計	総務部計		
総供給高	2,156,746	1510730	656204	0	2,044,752	
供給値引	23,919	3094	0	20825	21,234	
純供給高	2,132,827	1,507,636	656,204	▲20,825	2,023,518	5.4
供給剰余金	549,728	207,021	363,532	▲20,825	530,572	3.6
G P R	25.8%	13.7%	55.4%	0.0%	26.2%	▲1.7
その他収入計	159,943	104,495	0	55,448	153,664	4.1
事業総剰余金	709,671	311,516	363,532	34,623	684,236	3.7
人件費計	490,377	182,282	242,002	66,093	453,308	8.2
物件費計	276,263	48,802	75,965	151,496	284,405	▲2.9
事業経費合計	766,640	231,084	317,967	217,589	737,713	3.9
事業剰余金	▲56,969	80,432	45,565	▲182,966	▲53,477	▲6.5
事業外収益	21,669	2,603	5,000	14,066	23,203	▲6.6
事業外費用	0			0	1,268	▲100.0
経常剰余金	▲35,300	83,035	50,565	▲168,900	▲31,542	▲11.9
特別利益	0	0	0	0	1,500	▲100.0
特別損失	0	0	0	0	170	▲100.0
税引前当期剰余金	▲35,300	83,035	50,565	▲168,900	▲30,212	▲16.8

3. 予算の特徴(2024 年度実績との対比)

(1) 事業総剰余

供給高は+6.2%、供給総剰余は+4.2%、手数料は+4.1%です。供給高の伸長は、MEAL PASS(学食定期から仕様を変更)の利用増を想定し、食堂だけではなくショップの利用も増加すると想定しました。ただ、供給高の伸長に対して供給総剰余が低くなっています。これは、商品・食材の仕入(原価)の高騰により、GPR が低くなる想定からです。結果、事業総剰余は、+3.7%です。

(2) 経 費

①人件費は、全体で+8.5%となります。

正規役職員 18 名(出向職員 1 名を含む)、パートタイマー約 235 名の人員体制で予算編成しています。

正規職員の賞与は年間 3.5 ヶ月としています。

パートタイマーに関しては、時間給の最低賃金が大きく改定されることと、社会保険の適用人数が増えることを想定し、3 月から 10 月は+4.5%、11 月から 2 月は+7.0%で編成しました。

②物件費は、△4.6%となります。

予算編成には鶴 2 食堂の改装費用(2 月に 200 万円)、学生会館店の什器撤去(5 月に 50 万円)、Windows11 へのパソコン入替(8 月に 200 万円)を計上しています。

※物件費は、政策的に積極的な施設改善を 2024 年度中に実施したことも△4.6%の要因です。

(3) 事業外収益

事業外収益では、経費の戻入、トレイ広告収入、経年度出資金整理益を計上しています。

(4) 剰 余

結果、税引前当期剰余金で△3,590 万円の予算となります。

収支均衡での編成を目指しましたが、2 期連続で損失(赤字)予算となります。

4. 推 移

2010 年度実績から 2025 年度予算を、事業総剰余(供給剰余＋その他収入)・人件費・物件費・当期剰余金・累積剰余金の推移を表した表とグラフは以下の通りです。

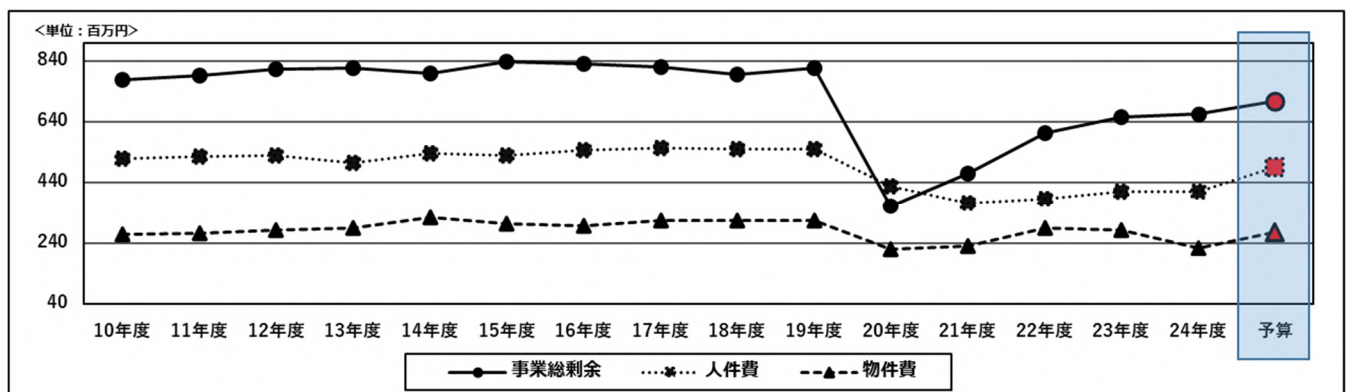
① 2010 年度－2025 年度予算推移表

＜単位：千円＞

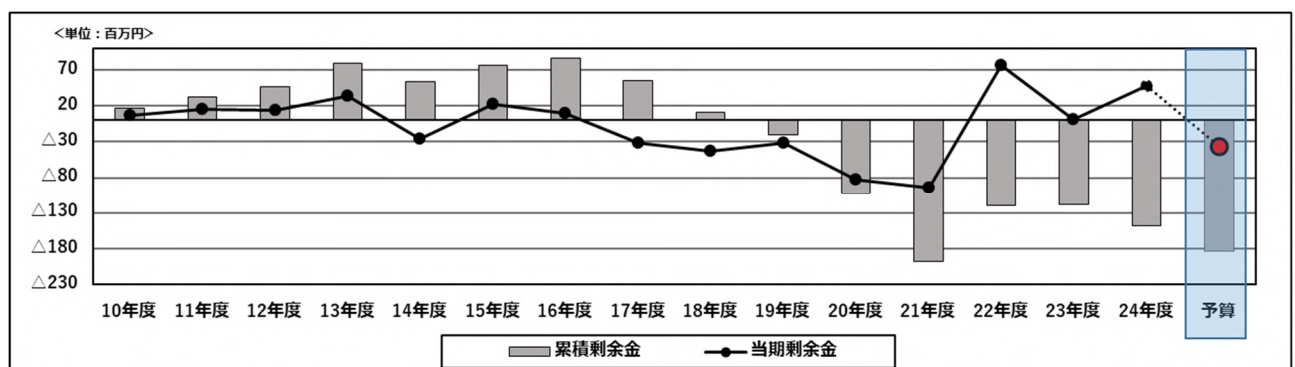
	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度
事業総剰余	777,517	794,399	813,504	815,843	798,695	838,231	831,804	819,642
人件費	518,748	526,770	530,405	507,541	537,468	531,042	549,505	554,917
物件費	268,180	272,143	281,119	289,592	323,776	303,321	296,283	314,045
当期剰余金	7,133	15,894	13,546	33,559	△25,367	22,363	9,153	△30,951
累積剰余金	16,453	32,347	45,893	79,452	54,085	76,448	85,601	54,650

	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度予算
事業総剰余	796,573	817,148	363,160	471,193	602,568	655,177	684,236	709,671
人件費	549,870	552,495	427,531	372,021	385,356	412,343	453,308	490,377
物件費	311,946	315,344	220,481	228,390	289,241	282,955	284,405	276,263
当期剰余金	△43,259	△31,282	△82,435	△94,636	76,806	1,745	△30,212	△35,300
累積剰余金	11,391	△19,891	△102,326	△196,962	△120,156	△118,411	△148,623	△183,923

② 事業総剰余・人件費・物件費 2010 年度－2025 年度予算推移グラフ



③ 当期剰余金・累積剰余金 2010 年度－2025 年度予算推移グラフ



なお、本議案の官庁等への届け出等については、本通常総代会の議決の趣旨に反しない範囲内で字句の修正等をさせていただくことを理事会に一任願います。

第 3 号議案 2025 年度役員選出の件

生協の運営を担う役員（理事・監事）は、総代会にて総代の皆様から選出されます。役員選挙管理委員会のもと、役員立候補及び理事会での推薦を受けた役員候補者は、以下の 28 名となります。

1. 選出をお願いする役員（理事・監事）は以下の通りです。

【理事候補 25 名】

選出区	氏名	所属・学年
院生・学生区	宮田 祥羽	工学研究科研究生(前理事)
	西田 駿	工学部 4 年生(前理事)
	川崎 海音	農学部 4 年生(前理事)
	古橋 みのり	農学部 4 年生(前理事)
	木下 幸喜	国際人間科学部 3 年生(前理事)
	森本 紗代	国際人間科学部 3 年生(前理事)
	辻野 康生	経営学部 3 年生(前理事)
	小川 晏奈	医学部保健学科 3 年生(前理事)
	飯田 陽向	工学部 3 年生(前理事)
	齋藤 晴香	農学部 3 年生(前理事)
	尾形 瑞生	国際人間科学部 2 年生(新人)
	河元 峻	経済部 2 年生(新人)
	秋山 花音	経営学部 2 年生(新人)
	門田 大輝	工学部 2 年生(新人)
教職員区	西野 友年	理学研究科教員(前理事)
	向井 洋一	工学研究科教員(前理事)
	朴 鐘祐	人文学研究科教員(前理事)
	横川 博一	大学教育推進機構教員(前理事)
	石丸 幸勢	附属中等教育学校教員(前理事)
	小澤 卓也	国際文化学研究科教員(前理事)
	元井 直樹	海事科学研究科教員(前理事)
	橋本 直人	人間発達環境学研究科教員(前理事)
その他	坂本 安弘	生協職員(前理事)
	木村 祐一	生協職員(前理事)
	岡川 功	生協職員(前理事)

【監事候補 3 名】

選出区	氏名	所属・学年
全体区	大谷 恭弘	工学研究科研究員(前監事)
	中出 麻紀	大学職員(前監事)
	大村 直人	工学研究科教員(新人)

2. 役員の任期

1 年間

※本総代会で任期を満了する役員は以下の通りです。

【理 事】

西野 友年(教員)	朴 鐘祐(教員)	向井 洋一(教員)	横川 博一(教員)
元井 直樹(教員)	小澤 卓也(教員)	橋本 直人(教員)	石丸 幸勢(教員)
宮田 祥羽(学生)	西田 駿(学生)	畑中 美南(学生)	越智 亜未(学生)
川崎 海音(学生)	守谷 彩花(学生)	古橋 みのり(学生)	飯田 陽向(学生)
木下 幸喜(学生)	森本 紗代(学生)	辻野 康生(学生)	齋藤 晴香(学生)
小川 晏奈(学生)	木村 祐一(生協職員)	岡川 功(生協職員)	坂本 安弘(生協職員)

以上 24 名

【監 事】

大谷 恭弘(大学研究員)	中出 麻紀(大学職員)	小紫 裕正(学外者)	以上 3 名
--------------	-------------	------------	--------

なお、本議案の官庁等への届け出等については、本通常総代会の議決の趣旨に反しない範囲内で字句の修正等をさせていただくことを理事会に一任願います。

第 4 号議案 監事監査規則の一部改定の件

1. 提案内容

監事監査規則を以下の通り一部改定いたします。

※監事監査規則の改定は、すべての監事にて協議・同意のもと、第 12 回理事会(5 月 2 日開催)を経て本総代会に提案しています。

改定(案)	現行条文
(全員同意事項) 第 12 条 次に掲げる事項の決定は、監事全員の同意を得なければならない。 (1)理事の責任の一部免除に関する議案を総代会に提出することに対する同意 (2)組合員による <u>理事</u> (理事であった者を含む、3 号及び 4 語においても同じ)の責任を追及する訴えにおいて、組合が被告理事側に補助参加することに対する同意 (3)組合員による <u>理事</u> の責任を追及する訴えにおいて、裁判所から通知された和解内容の承認 (4)各監事の報酬 附則 (施行期日) 1 この規則は、この組合の成立の 1992 年 7 月 6 日から実施する。 2～5 省略 6 この規則は、2024 年 5 月 23 日に一部改定し実施する。 <u>7 この規則は、2025 年 5 月 29 日に一部改定し実施する。</u>	(全員同意事項) 第 12 条 次に掲げる事項の決定は、監事全員の同意を得なければならない。 (1)理事の責任の一部免除に関する議案を総代会に提出することに対する同意 (2)組合員による <u>役員</u> の責任を追及する訴えにおいて、組合が被告理事側に補助参加することに対する同意 (3)組合員による <u>役員</u> の責任を追及する訴えにおいて、裁判所から通知された和解内容の承認 (4)各監事の報酬 附則 (施行期日) 1 この規則は、この組合の成立の 1992 年 7 月 6 日から実施する。 2～5 省略 6 この規則は、2024 年 5 月 23 日に一部改定し実施する。 6 この規則は、2024 年 5 月 23 日に一部改定し実施する。

2. 改正の理由

本条は、監事会において監事全員の同意によって決定すべき事項を列挙していますが、生協が提起した理事・元理事の責任追及訴訟で和解をする場合の手続きに関する規定（生協法第 31 条の 8）が設けられたことを受けて第 4 号を新設します。理事・元理事と組合の間の訴訟については監事が組合を代表しますが、その訴訟で和解が成立した場合、和解の効力が組合に及ぶため、同一案件に関して別の監事が別の訴訟で争うことはできなくなります。そうした問題を生じないようにするため、和解にあたっては監事全員の同意が必要とされました。第 4 号の新設に伴い、関係する号の条文の修正・追記と繰り下げをしています。

なお、本議案の官庁等への届け出等については、本通常総代会の議決の趣旨に反しない範囲内で字句の修正等をさせていただくことを理事会に一任願います。

第 5 号議案 役員報酬決定の件

役員の年間報酬(2025年6月～2026年5月)について、下記の総額の範囲で理事会が定める役員報酬規則および役員退職金規則にもとづいて支給すること、および各役員の報酬額・支給方法などについては理事会の協議に委ねることを提案します。

1. 役員報酬

2025 年度役員報酬のうち、退職慰労金を除くものについて次の総額を定めます。

理事の報酬 1 名 総額 1,000 万円

- ・理事のうち、常勤役員は 1 名の予定です。
- ・この議案は、報酬総額(上限額)を定めるものであり、実際の支給額は理事会の議決にて定めます。
- ・この金額は、前年度の総代会で議決した金額と同じです。
- ・監事への報酬はありません。

2. 役員退職慰労金の金額

今総代会で就任予定の役員が、何らかの事由で次期総代会までに退任した場合に、退職慰労金として支払う可能性のある分も含めた総額を提案しています。

役員報酬規則にもとづき役員就任期間に対応する役員退職慰労金を支給することとし、具体的な支給金額・支給時期等については理事会に委ねます。

理事への退職慰労金 1 名 総額 750 万円

- ・現専務理事 坂本 安弘(2015 年 5 月から専務理事)が次期通常総代会までに退任した場合に支払う可能性のある退職慰労金について、上記の総額の範囲で役員報酬規則及び役員退職慰労金規則に基づき、具体的な支給金額・支給時期等を理事会に委ねます。
なお、退職しない場合は支払われません。
- ・この金額は、前年度の総代会で議決した金額と異なります。次期就任予定者の勤続年数の増加のためです。

なお、本議案の官庁等への届け出等については、本通常総代会の議決の趣旨に反しない範囲内で字句の修正等をさせていただくことを理事会に一任願います。